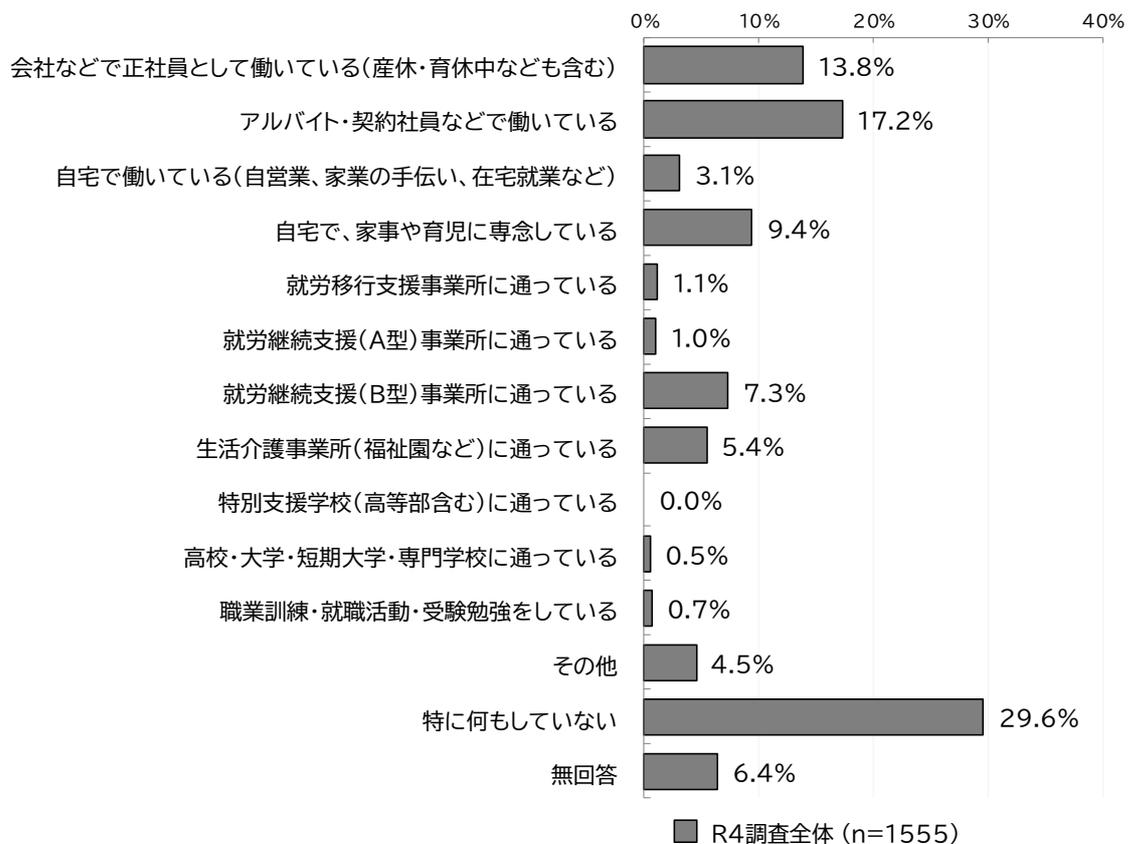


2 仕事や学校生活について

問. あなた(ご本人)は、普段(休日以外)は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの
1つに○をつけてください。

<障害者調査 問9>

日中の活動について、令和4年調査全体では「特に何もしていない」が29.6%と最も高く、次いで「アルバイト・契約社員などで働いている」が17.2%、「会社などで正社員として働いている(産休・育休中なども含む)」が13.8%となっています。



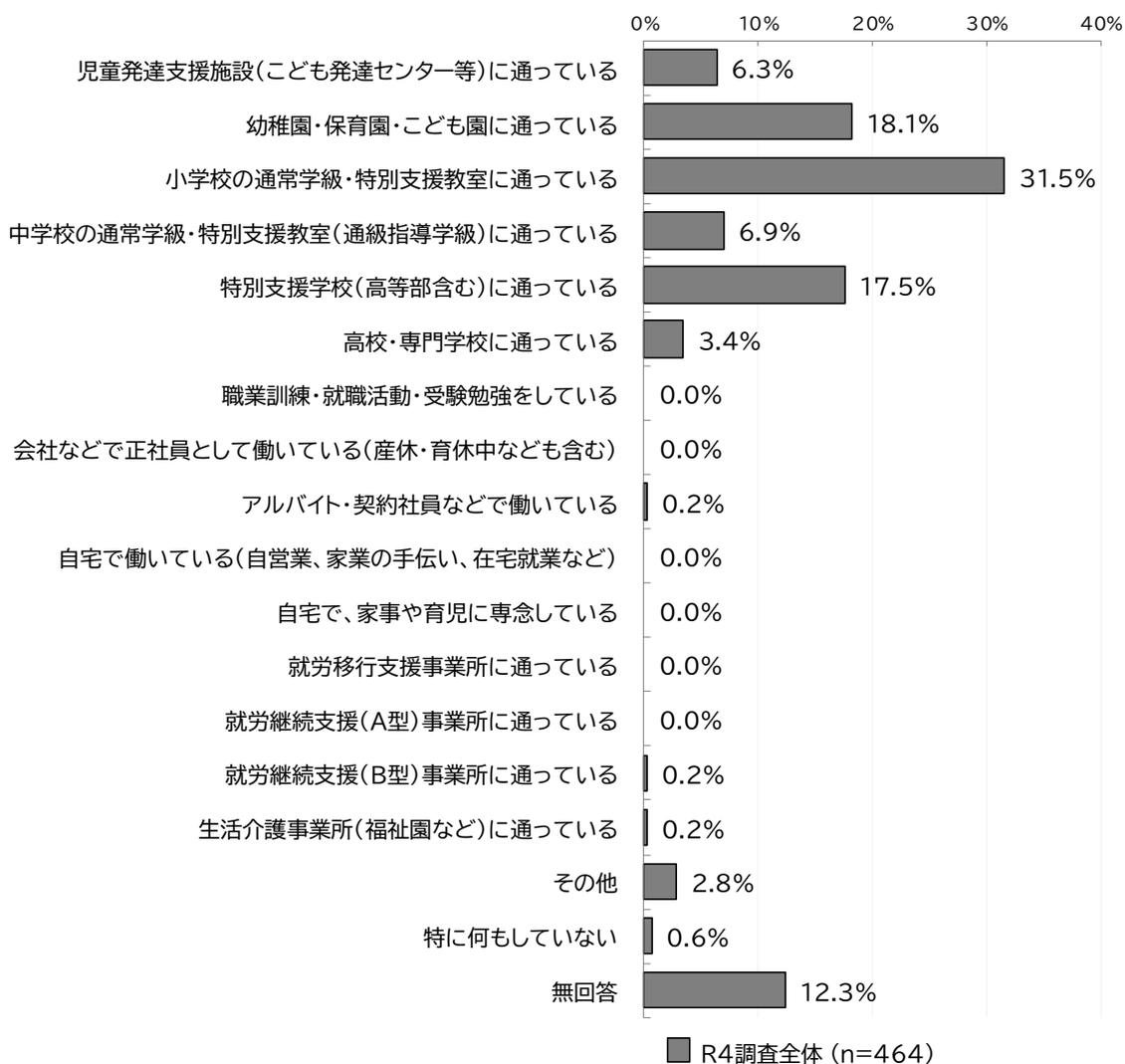
障害種別ごとにみると、発達障害で「アルバイト・契約社員などで働いている」が30.4%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「就労継続支援(B型)事業所に通っている」が24.3%、「生活介護事業所(福祉園など)に通っている」が20.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「特に何もしていない」は年齢が上がるほど高く、75歳以上で64.3%となっています。18～39歳と40～64歳は「会社などで正社員として働いている(産休・育休中なども含む)」「アルバイト・契約社員などで働いている」が高く、20%台の構成比となっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問9.日中の活動について														
		会社などで正社員として働いている(産休・育休中なども含む)	アルバイト・契約社員などで働いている	自宅で働いている(自営業、家業の手伝い、在宅就業など)	自宅で、家事や育児に専念している	就労移行支援事業所に通っている	就労継続支援(A型)事業所に通っている	就労継続支援(B型)事業所に通っている	生活介護事業所(福祉園など)に通っている	特別支援学校(高等部含む)に通っている	高校・大学・短期大学・専門学校に通っている	職業訓練・就職活動・受験勉強をしている	その他	特に何もしていない	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	75 12.2	56 9.1	25 4.1	55 8.9	2 0.3	2 0.3	25 4.1	42 6.8	0 0.0	2 0.3	1 0.2	38 6.2	239 38.8	54 8.8
	知的障害	301 100.0%	25 8.3	56 18.6	2 0.7	3 1.0	5 1.7	8 2.7	73 24.3	63 20.9	0 0.0	0 0.0	2 0.7	11 3.7	38 12.6	15 5.0
	精神障害	385 100.0%	36 9.4	77 20.0	4 1.0	33 8.6	10 2.6	8 2.1	26 6.8	8 2.1	0 0.0	4 1.0	7 1.8	20 5.2	127 33.0	25 6.5
	難病	454 100.0%	83 18.3	86 18.9	21 4.6	71 15.6	2 0.4	1 0.2	5 1.1	10 2.2	0 0.0	3 0.7	2 0.4	15 3.3	124 27.3	31 6.8
	発達障害	92 100.0%	16 17.4	28 30.4	2 2.2	1 1.1	4 4.3	1 1.1	13 14.1	5 5.4	0 0.0	3 3.3	2 2.2	4 4.3	10 10.9	3 3.3
	高次脳機能障害	90 100.0%	7 7.8	6 6.7	2 2.2	4 4.4	1 1.1	1 1.1	13 14.4	8 8.9	0 0.0	1 1.1	0 0.0	5 5.6	29 32.2	13 14.4
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	69 22.2	73 23.5	5 1.6	17 5.5	9 2.9	5 1.6	38 12.2	43 13.8	0 0.0	7 2.3	5 1.6	8 2.6	26 8.4
40～64歳		661 100.0%	139 21.0	144 21.8	25 3.8	62 9.4	7 1.1	11 1.7	60 9.1	26 3.9	0 0.0	0 0.0	6 0.9	22 3.3	128 19.4	31 4.7
65～74歳		301 100.0%	6 2.0	41 13.6	10 3.3	44 14.6	1 0.3	0 0.0	15 5.0	7 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 5.0	135 44.9	27 9.0
75歳以上		258 100.0%	0 0.0	5 1.9	7 2.7	20 7.8	0 0.0	0 0.0	1 0.4	8 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 9.3	166 64.3	27 10.5

<障害児調査 問9>

日中の活動について、令和4年調査全体では「小学校の通常学級・特別支援教室に通っている」が31.5%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園・こども園に通っている」が18.1%、「特別支援学校(高等部含む)に通っている」が17.5%となっています。



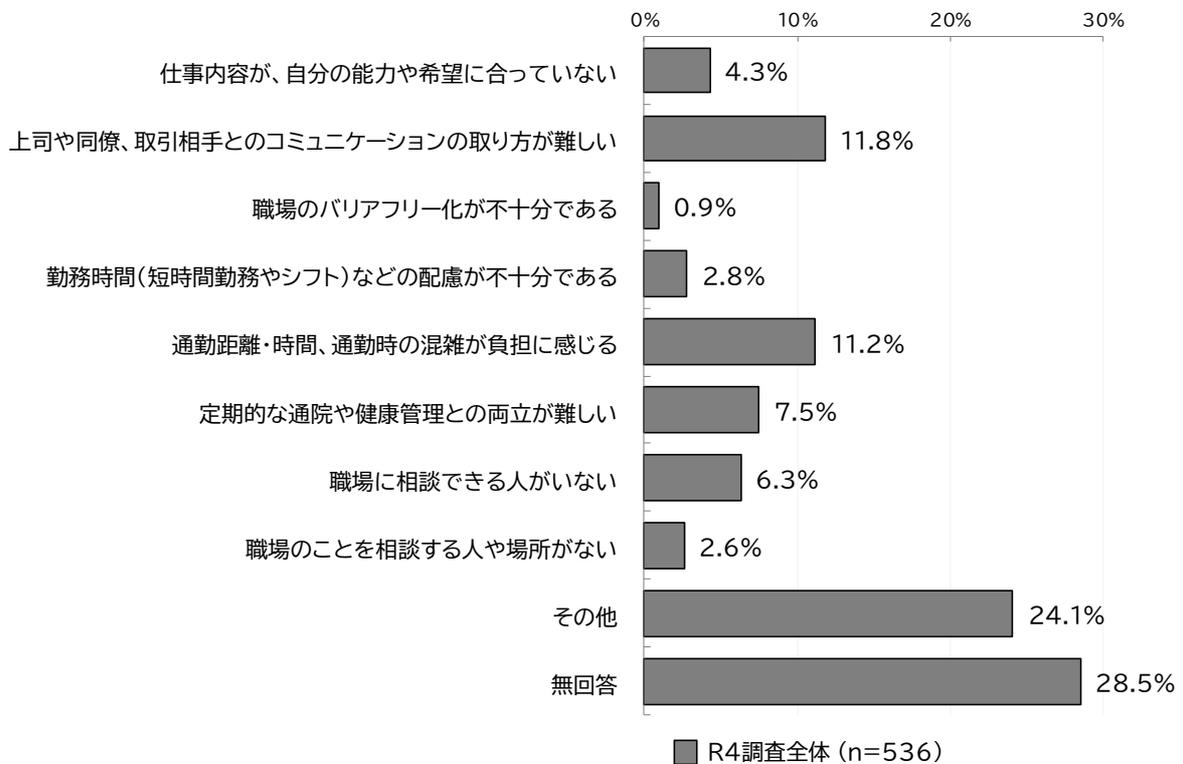
問9で1～3に○をつけた方にかがいます。

問. 仕事をする上で困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。
それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

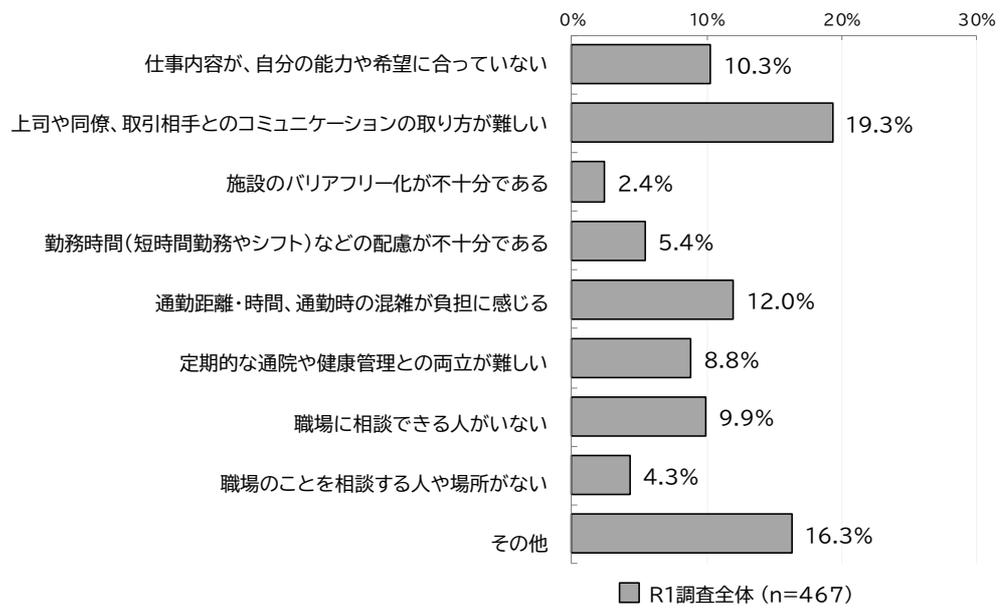
<障害者調査 問10>

【困っていること】

一般就労している方が、仕事をする上で困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「その他」が24.1%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」が11.8%、「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」が11.2%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



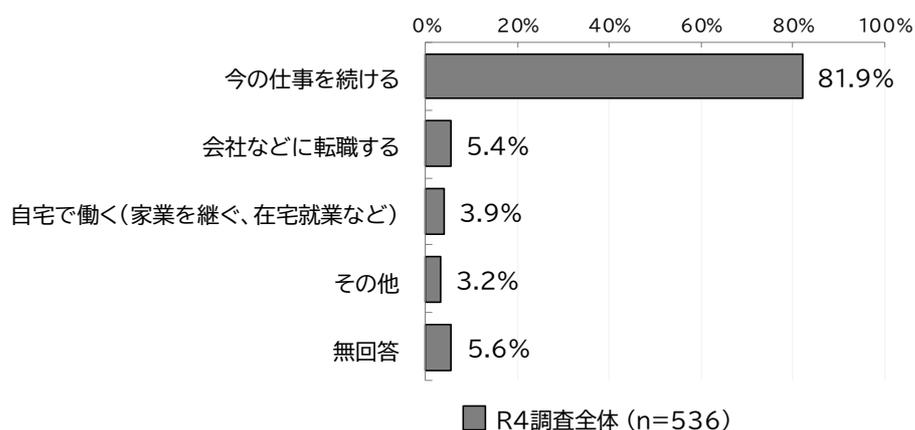
障害種別ごとにとみると、高次脳機能障害で「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」が33.3%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」が発達障害で21.7%、知的障害で20.2%と他の障害種別と比較して高めになっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問10.就業者(1)現在困っていること										
		仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない	上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションが難しい	職場のバリアフリー化が不十分である	勤務の配慮が不十分である(短時間勤務やシフトなど)	通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる	定期的な通院や健康管理との両立が難しい	職場に相談できる人がいない	職場のことを相談する人や場所がない	その他	無回答	
身体障害	159 100.0%	5 3.1	17 10.7	3 1.9	3 1.9	24 15.1	10 6.3	8 5.0	4 2.5	43 27.0	42 26.4	
知的障害	84 100.0%	1 1.2	17 20.2	0 0.0	1 1.2	9 10.7	2 2.4	4 4.8	1 1.2	20 23.8	29 34.5	
精神障害	118 100.0%	13 11.0	18 15.3	1 0.8	3 2.5	12 10.2	9 7.6	7 5.9	6 5.1	19 16.1	30 25.4	
難病	193 100.0%	6 3.1	8 4.1	2 1.0	8 4.1	23 11.9	19 9.8	14 7.3	4 2.1	54 28.0	55 28.5	
発達障害	46 100.0%	3 6.5	10 21.7	0 0.0	2 4.3	1 2.2	3 6.5	3 6.5	0 0.0	6 13.0	18 39.1	
高次脳機能障害	15 100.0%	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	5 33.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0	2 13.3	3 20.0	

【今後の希望】

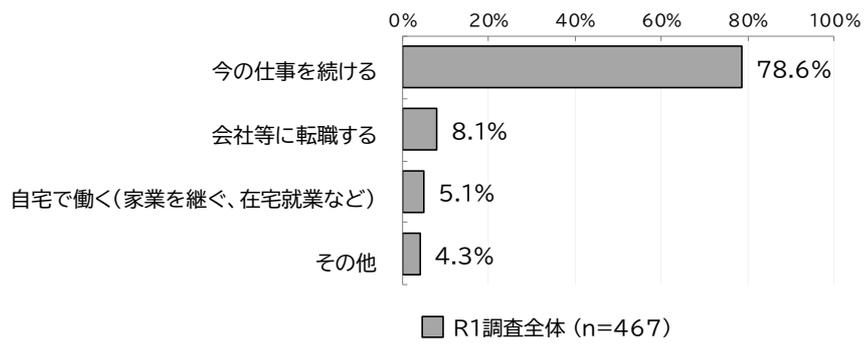
一般就労している方が、仕事をする上で今後の希望について、令和4年調査全体では「今の仕事を続ける」が81.9%と最も高くなっています。

障害種別ごとにみると、どの障害種別でも「今の仕事を続ける」が最も高く、特に知的障害で89.3%と高くなっています。



1段目 人 2段目 %	合計	問10.就業者(2)今後の希望				
		今の仕事を続ける	会社などに転職する	自宅で働く(家業を継ぐ、在宅就業など)	その他	無回答
身体障害	159 100.0%	134 84.3	3 1.9	5 3.1	5 3.1	12 7.5
知的障害	84 100.0%	75 89.3	6 7.1	1 1.2	1 1.2	1 1.2
精神障害	118 100.0%	91 77.1	12 10.2	6 5.1	6 5.1	3 2.5
難病	193 100.0%	157 81.3	8 4.1	9 4.7	6 3.1	13 6.7
発達障害	46 100.0%	37 80.4	4 8.7	1 2.2	2 4.3	2 4.3
高次脳機能障害	15 100.0%	12 80.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



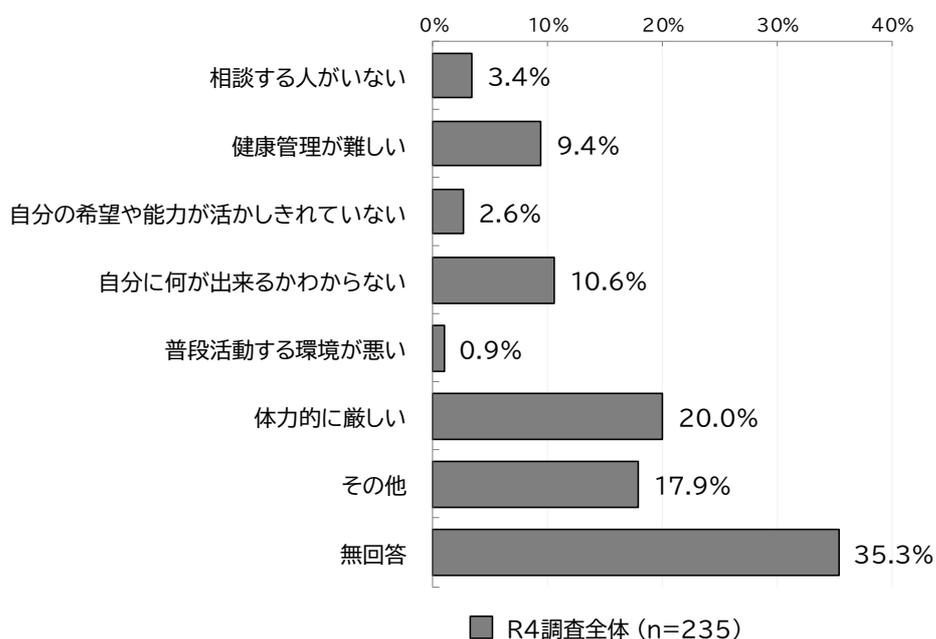
問9で4、12に○をつけた方にうかがいます。

問. 現在困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問11>

【困っていること】

自宅療養等の方が、現在困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「体力的に厳しい」が20.0%と最も高く、次いで「その他」が17.9%、「自分に何が出来るかわからない」が10.6%となっています。



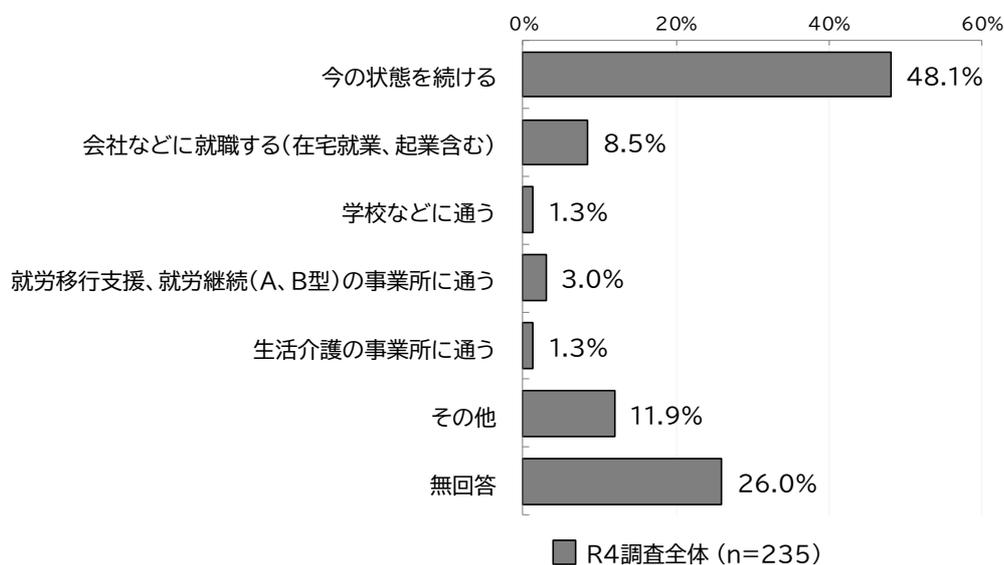
障害種別ごとにみると、難病で「体力的に厳しい」が22.8%と他の障害種別と比較して高めとなっています。また、精神障害で「健康管理が難しい」が13.8%と他の障害種別と比較して高めとなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問11.自宅療養者等(1)現在困っていること							
		相談する人がいない	健康管理が難しい	か自分の希望や能力が活	か自分に何が出来るか	い普段活動する環境が悪	体力的に厳しい	その他	無回答
身体障害	105 100.0%	2 1.9	8 7.6	2 1.9	10 9.5	0 0.0	19 18.1	21 20.0	43 41.0
知的障害	18 100.0%	0 0.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	7 38.9	9 50.0
精神障害	58 100.0%	4 6.9	8 13.8	2 3.4	9 15.5	2 3.4	9 15.5	7 12.1	17 29.3
難病	92 100.0%	3 3.3	7 7.6	2 2.2	10 10.9	0 0.0	21 22.8	13 14.1	36 39.1
発達障害	6 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
高次脳機能障害	12 100.0%	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	3 25.0	6 50.0

【今後の希望】

自宅療養等の方の今後の希望について、令和4年調査全体では「今の状態を続ける」が48.1%と最も高くなっています。

障害種別ごとにみると、どの障害種別でも概ね「今の状態を続ける」が最も高くなっています。



		問11.自宅療養者等(2)今後の希望							
		今の状態を続ける	会社などに就職する(在宅就業、起業含む)	学校などに通う	(就労移行支援、就労継続(A、B型)の事業所に通う)	生活介護の事業所に通う	その他	無回答	
障害種別	1段目 人	合計							
	2段目 %	合計							
障害種別	身体障害	105	52	2	0	1	2	16	32
		100.0%	49.5	1.9	0.0	1.0	1.9	15.2	30.5
	知的障害	18	5	1	1	1	0	3	7
		100.0%	27.8	5.6	5.6	5.6	0.0	16.7	38.9
	精神障害	58	22	8	1	5	1	7	14
		100.0%	37.9	13.8	1.7	8.6	1.7	12.1	24.1
難病	92	49	10	1	0	2	8	22	
	100.0%	53.3	10.9	1.1	0.0	2.2	8.7	23.9	
発達障害	6	1	1	1	0	0	0	3	
	100.0%	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	
高次脳機能障害	12	8	0	0	0	0	2	2	
	100.0%	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	

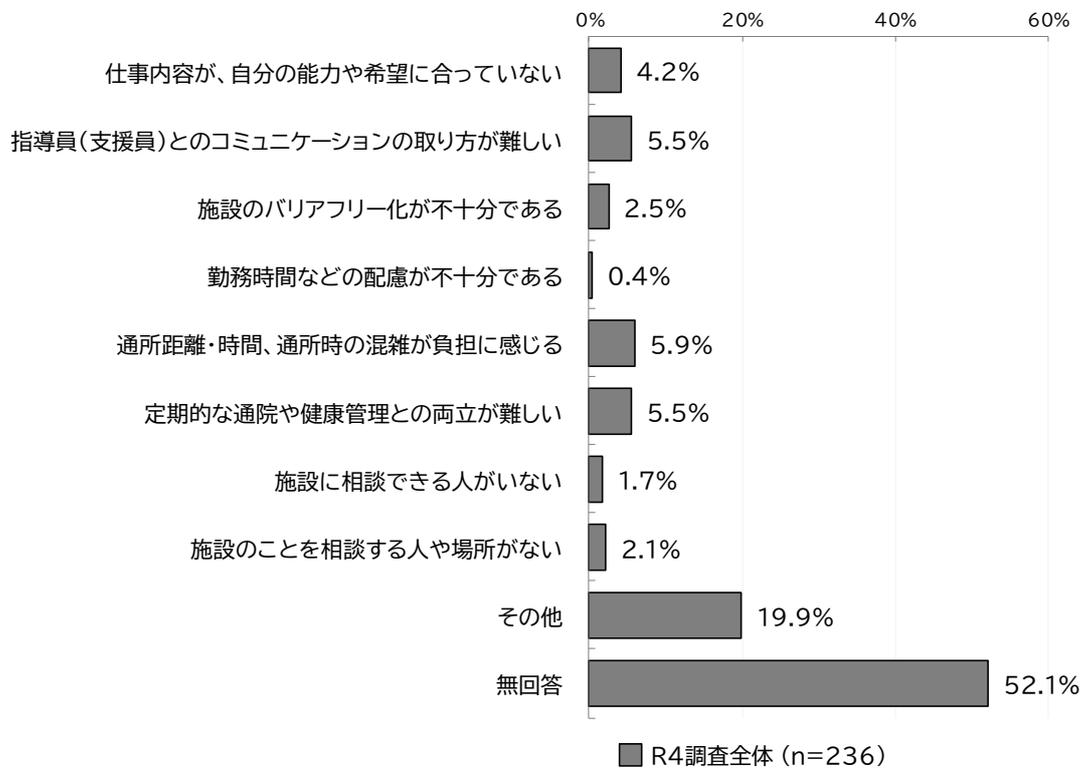
問9で5～8に○をつけた方にかがいます。

問. 現在困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもつともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問12>

【困っていること】

事業所等に通所している方が、現在困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「その他」が19.9%と最も高く、次いで「通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる」が5.9%、「指導員(支援員)とのコミュニケーションの取り方が難しい」「定期的な通院や健康管理との両立が難しい」が同率で5.5%となっています。



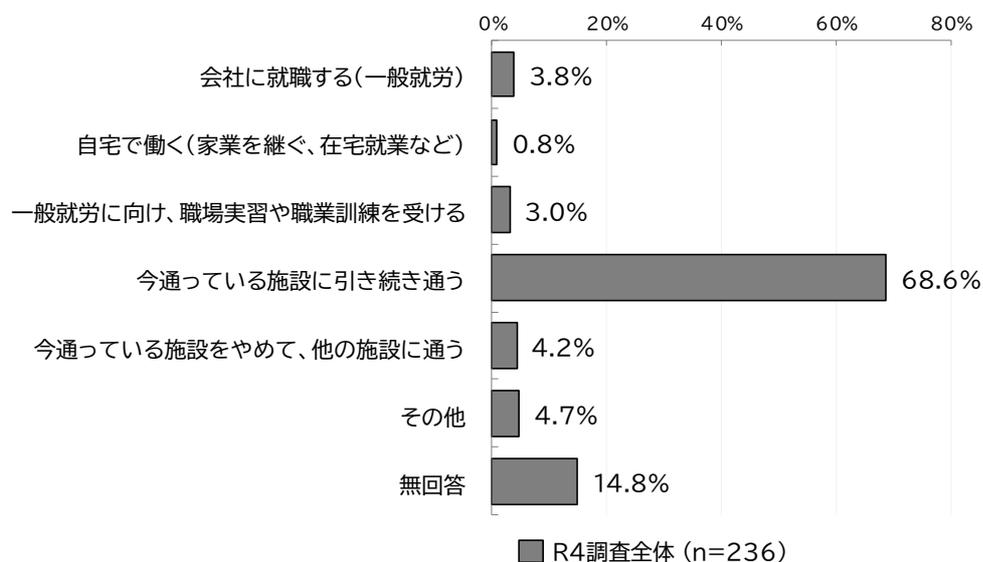
障害種別ごとに見ると、高次脳機能障害で「通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる」が13.0%で最も高く、他の障害者種別では「その他」が最も高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問12.事業所等通所者(1)現在困っていること									
			合 計	仕 事 内 容 が 、 自 分 の 能 力 や 希 望 に あ ら ず	指 導 員 （ 支 援 員 ） と の コ ミ ュ ニ ケーションが難しい	施 設 の バ リ ア フ リ ー 化 が 不 十 分 で あ る	勤 務 時 間 な ど の 配 慮 が 不 十 分 で あ る	負 担 に 感 じ る 通 所 距 離 ・ 時 間 、 通 所 時 の 混 雑 が	定 期 的 な 通 院 や 健 康 管 理 と の 両 立 が 難 し い	施 設 に 相 談 で き る 人 が い な い	施 設 の こ と を 相 談 す る 人 や 場 所 が い な い	そ の 他
障 害 種 別	身体障害	72 100.0%	0 0.0	5 6.9	4 5.6	0 0.0	0 0.0	3 4.2	2 2.8	3 4.2	14 19.4	41 56.9
	知的障害	152 100.0%	7 4.6	11 7.2	3 2.0	1 0.7	7 4.6	5 3.3	1 0.7	3 2.0	29 19.1	85 55.9
	精神障害	53 100.0%	3 5.7	1 1.9	0 0.0	0 0.0	8 15.1	7 13.2	2 3.8	1 1.9	9 17.0	22 41.5
	難病	19 100.0%	0 0.0	2 10.5	1 5.3	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	4 21.1	8 42.1
	発達障害	24 100.0%	2 8.3	3 12.5	0 0.0	0 0.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	0 0.0	6 25.0	9 37.5
	高次脳機能障害	23 100.0%	1 4.3	1 4.3	2 8.7	0 0.0	3 13.0	2 8.7	0 0.0	1 4.3	1 4.3	12 52.2

【今後の希望】

事業所等に通所している方の今後の希望について、令和4年調査全体では「今通っている施設に引き続き通う」が68.6%と最も高くなっています。

障害種別ごとにみると、どの障害種別でも「今通っている施設に引き続き通う」が最も高く、特に知的障害は75.0%となっています。



1段目 人 2段目 %	合計	問12.事業所等通所者(2)今後の希望						
		会社 に 就 職 す る (一 般 就 労)	自 宅 で 働 く (家 業 を 継 ぐ 、 在 宅 就 業 な ど)	一 般 就 労 に 向 け 、 職 場 実 習 や 職 業 訓 練 を 受 け る	今 通 っ て い る 施 設 に 引 き 続 き 通 う	今 通 っ て い る 施 設 を や め て 、 他 の 施 設 に 通 う	そ の 他	無 回 答
身体障害	72 100.0%	5 6.9	1 1.4	0 0.0	49 68.1	1 1.4	3 4.2	13 18.1
知的障害	152 100.0%	1 0.7	1 0.7	1 0.7	114 75.0	7 4.6	7 4.6	21 13.8
精神障害	53 100.0%	3 5.7	1 1.9	5 9.4	33 62.3	3 5.7	4 7.5	4 7.5
難病	19 100.0%	3 15.8	0 0.0	0 0.0	8 42.1	3 15.8	1 5.3	4 21.1
発達障害	24 100.0%	2 8.3	1 4.2	3 12.5	13 54.2	0 0.0	3 12.5	2 8.3
高次脳機能障害	23 100.0%	3 13.0	0 0.0	1 4.3	13 56.5	1 4.3	1 4.3	4 17.4

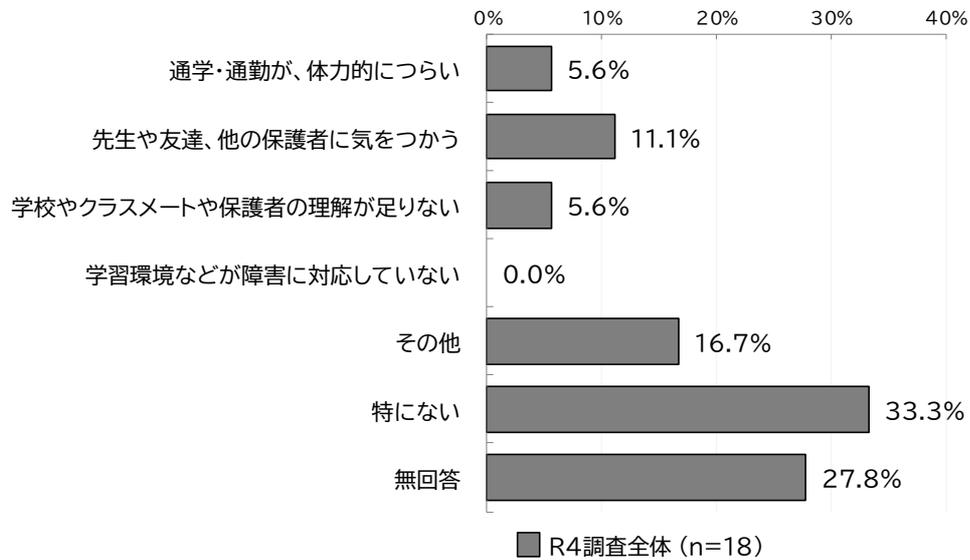
問9で9～11に○をつけた方にかがいます。

問. 学校などで、困っていることはありますか。また、学校(高校)卒業後は、どのような進路を希望していますか。それぞれもっともあてはまるもの**1つに○**をつけてください。

<障害者調査 問13>

【困っていること】

学生等の方が、学校などで困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特にない」が33.3%と最も高く、次いで「その他」が16.7%、「先生や友達、他の保護者に気をつかう」が11.1%、「先生や友達、他の保護者に気をつかう」が11.1%となっています。

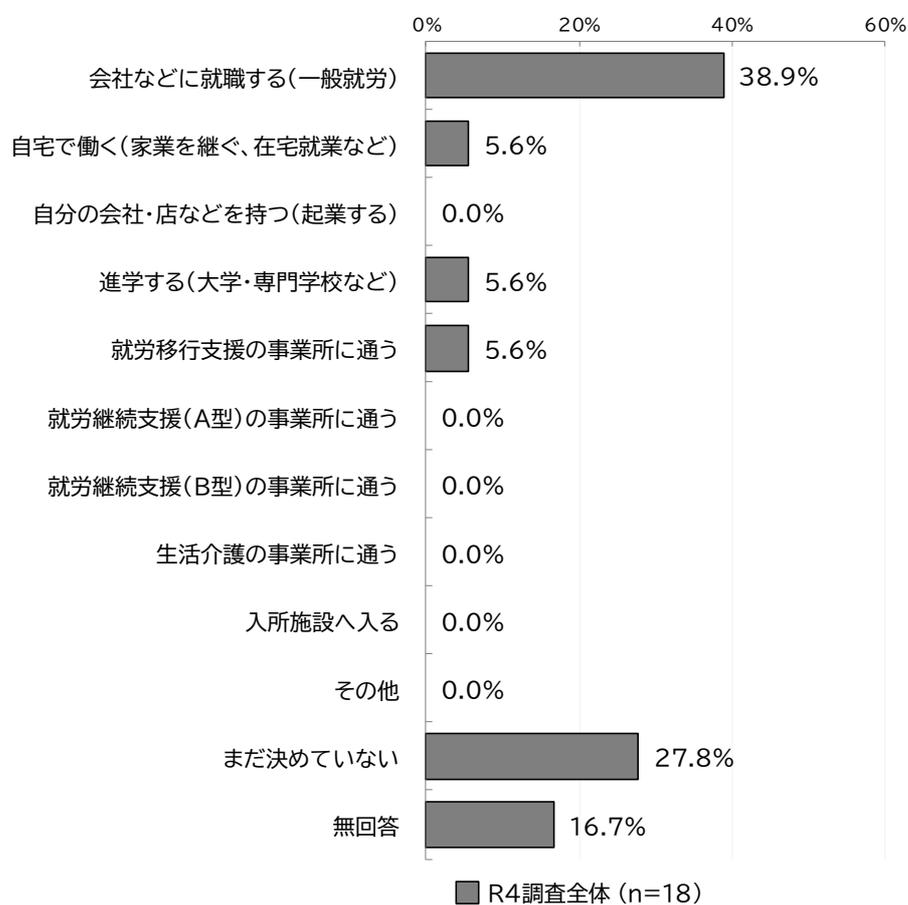


障害種別ごとにみると、どの障害種別でも「特にない」が高めとなっています。

1段目 人 2段目 %		合 計	問13.学生等(1)現在困っていること						
			つ通 ら学 い・ 通勤 が、 体的 的に	に先 生や 友達 、他 の保 護者	護学 校の 理ク 解が 足り ない や保	応学 習環 境な どが 障害 に対	そ の 他	特 に な い	無 回 答
障 害 種 別	身体障害	3 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	知的障害	2 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	精神障害	11 100.0%	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	2 18.2	2 18.2	3 27.3
	難病	5 100.0%	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0
	発達障害	5 100.0%	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	高次脳機能障害	1 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

【卒業後の希望する進路】

学生等の方の卒業後の希望する進路について、令和4年調査全体では「会社などに就職する（一般就労）」が38.9%と最も高く、次いで「まだ決めていない」が27.8%となっています。



障害種別ごとにみると、「会社などに就職する(一般就労)」「まだ決めていない」のほかに、身体障害と高次脳機能障害は「就労移行支援の事業所に通う」、精神障害と発達障害は「自宅で働く(家業を継ぐ、在宅就業など)」「進学する(大学・専門学校など)」の回答となっています。

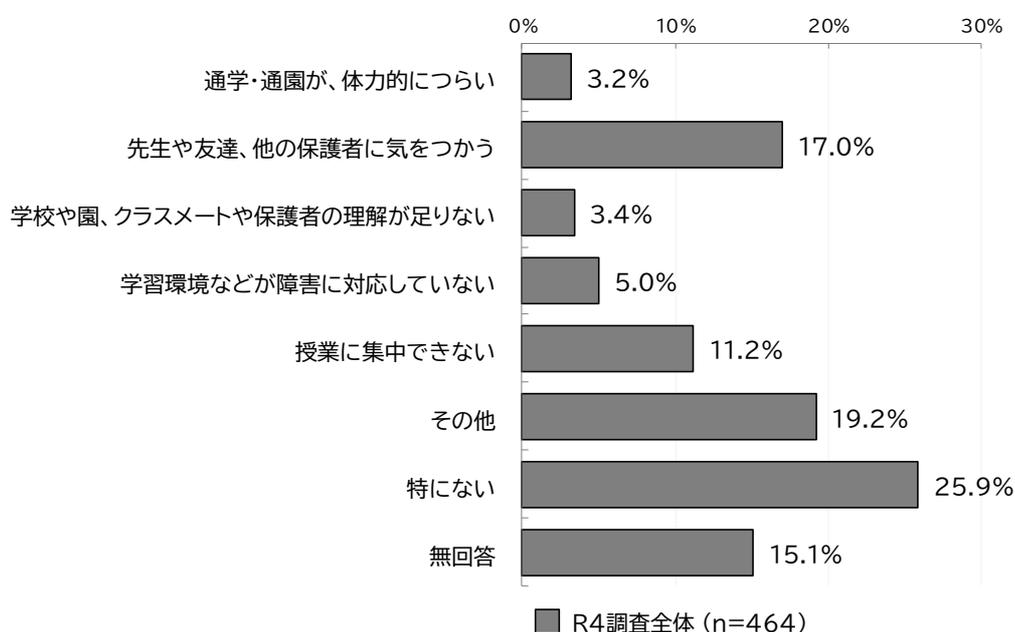
1段目 人 2段目 %	合計	問13.学生等(2)今後の希望											
		会社などに就職する (一般就労)	自宅で働く(家業を継ぐ、在宅就業など)	自分の会社・店などを 持つ(起業する)	進学する(大学・専門学校など)	就労移行支援の事業所 に通う	就労継続支援(A型) の事業所に通う	就労継続支援(B型) の事業所に通う	生活介護の事業所に通う	入所施設へ入る	その他	まだ決めていない	無回答
身体障害	3 100.0%	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
知的障害	2 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
精神障害	11 100.0%	4 36.4	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	2 18.2
難病	5 100.0%	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
発達障害	5 100.0%	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
高次脳機能障害	1 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問. お子様在学校生活などを送るうえで、保護者の方が心配されていることや困っていることは何ですか。また、お子様または保護者の方としては、学校(中学または高校)卒業後は、どのような進路を希望していますか。もっともあてはまるもの1つに〇をつけてください。

<障害児調査 問10>

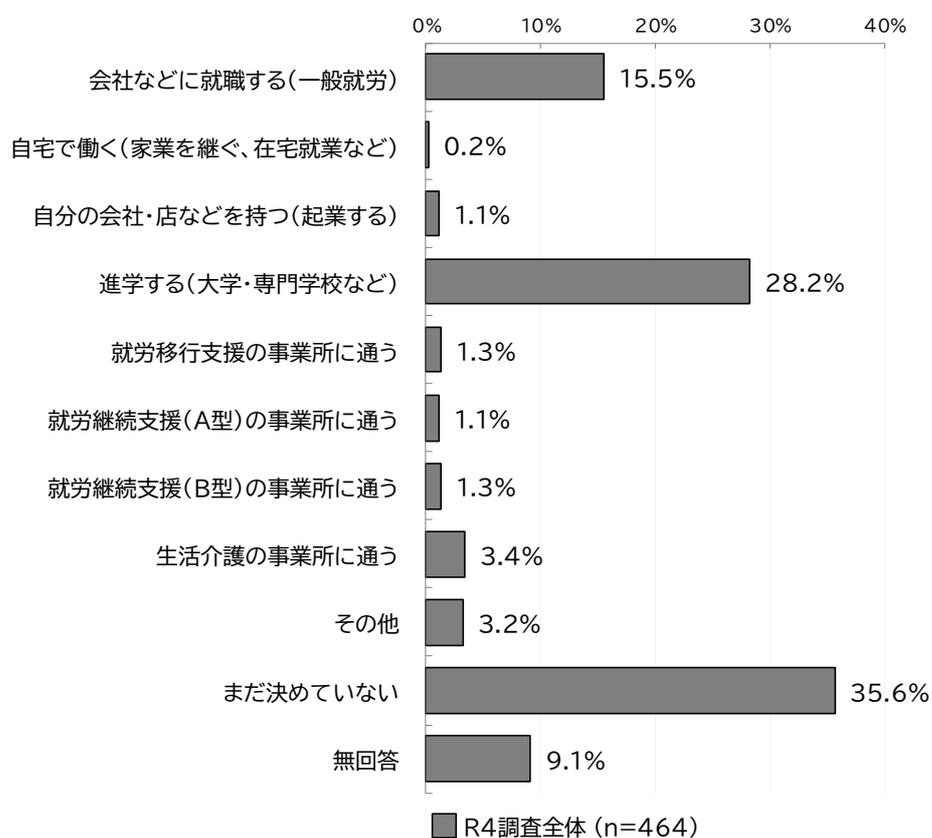
【心配されていること(困っていること)】

学校生活において保護者の方が心配していることや困っていることについて、令和4年調査全体では「特にない」が25.9%と最も高く、次いで「その他」が19.2%、「先生や友達、他の保護者に気がつかう」が17.0%となっています。



【卒業後の希望する進路】

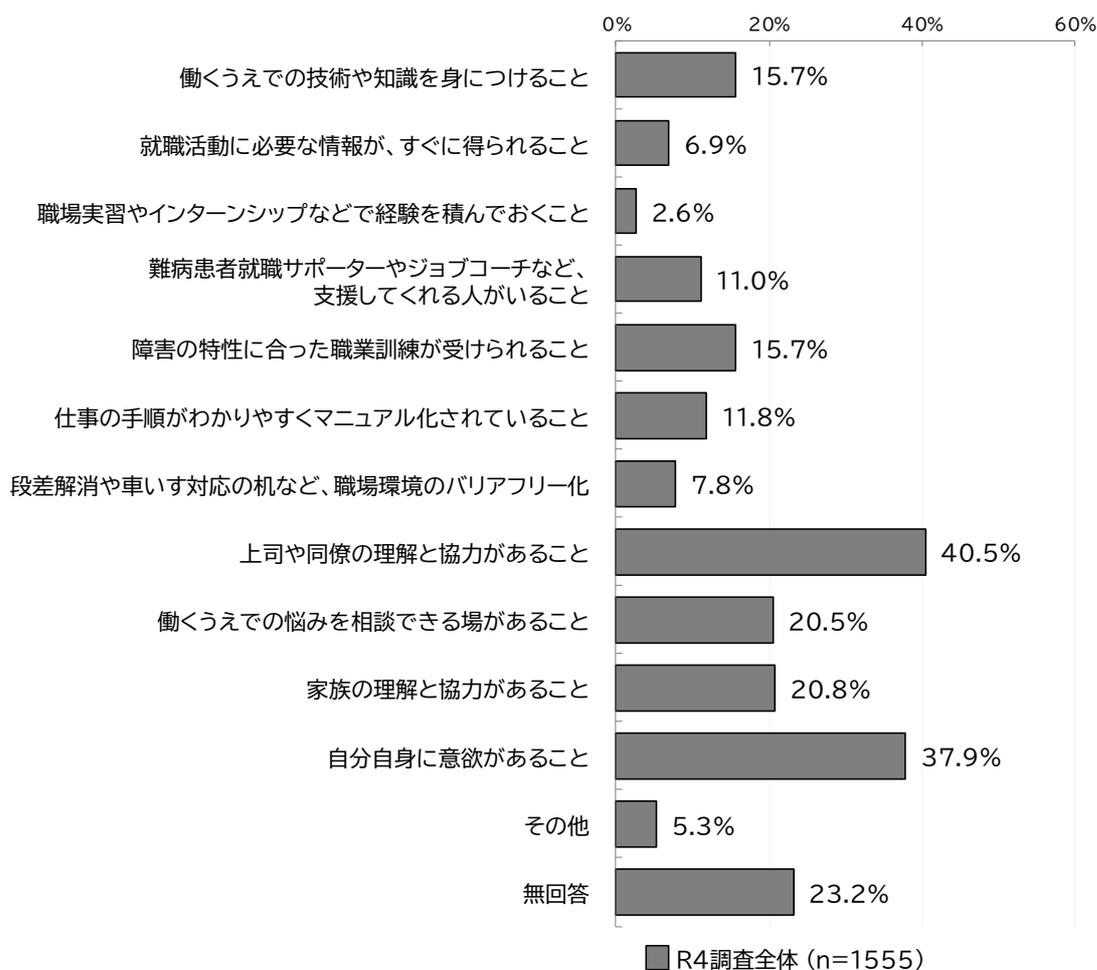
卒業後の希望する進路について、令和4年調査全体では「まだ決めていない」が35.6%と最も高く、次いで「進学する(大学・専門学校など)」が28.2%、「会社などに就職する(一般就労)」が15.5%となっています。



問. 障害(難病)のある方が仕事をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

<障害者調査 問14>

仕事をしていくために必要なことについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「上司や同僚の理解と協力があること」が40.5%と最も高く、次いで「自分自身に意欲があること」が37.9%、「家族の理解と協力があること」が20.8%となっています。



障害種別ごとにとみると、発達障害で「上司や同僚の理解と協力があること」が56.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳、40～64歳では「上司や同僚の理解と協力があること」が最も高くなっており、65～74歳、75歳以上では「自分自身に意欲があること」が最も高くなっています。

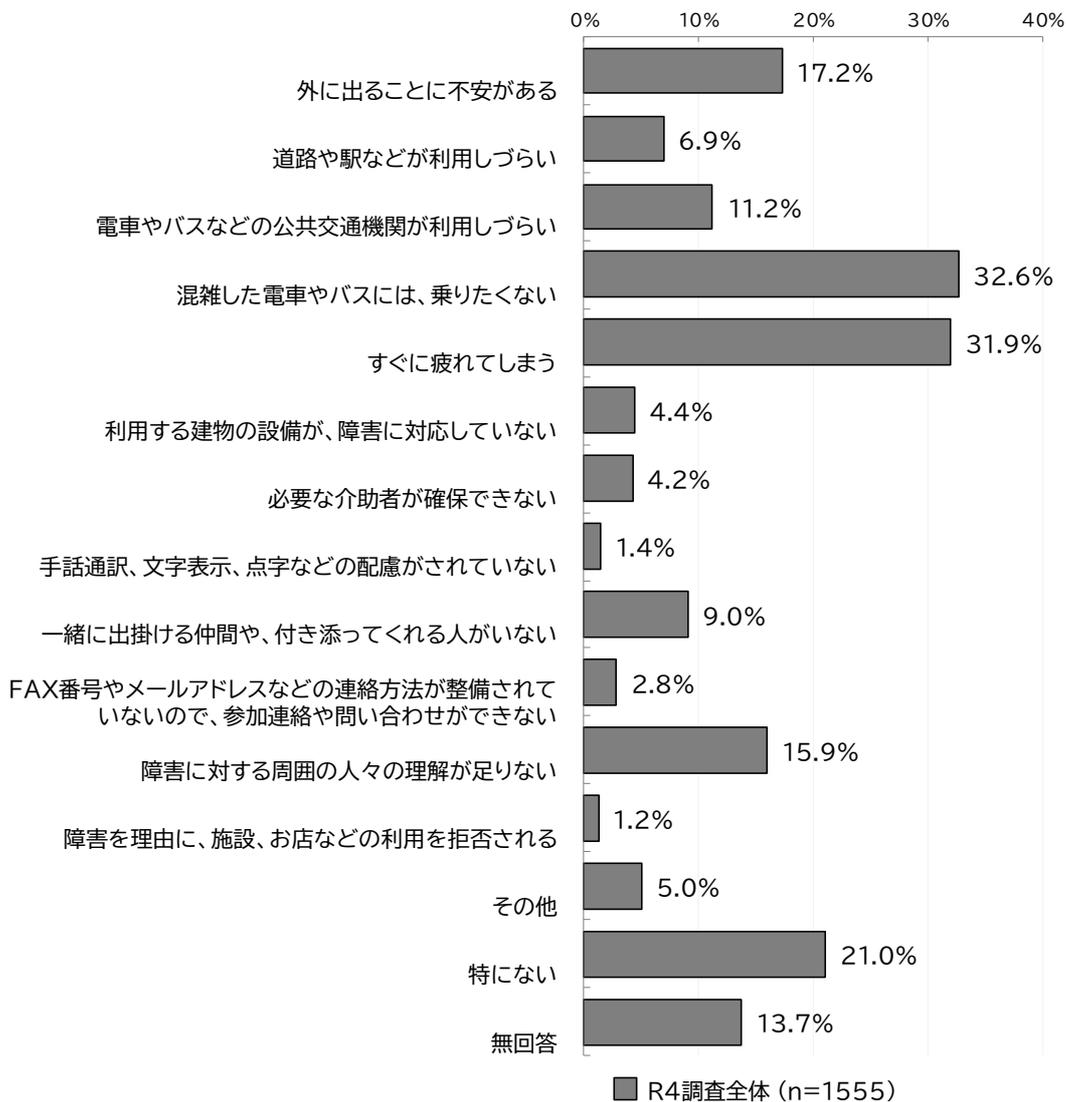
1段目 人 2段目 %	合計	問14.仕事をしていくために必要なこと													
		働くこと こ く う え で の 技 術 や 知 識 を 身 に つ け る	就 職 活 動 に 必 要 な 情 報 が 、 す ぐ に 得 ら れること	職 場 実 習 や イ ン タ ー ン シ ッ プ な ど で 経 験 を 積 ん で お く こ と	難 病 患 者 就 職 サ ポ ー ト ー や ジ ョ ブ コ ー チ な ど 、 支 援 し て く れ る 人 が い る こ と	障 害 の 特 性 に 合 っ た 職 業 訓 練 が 受 け ら れること	仕 事 の 手 順 が わ か り や す く マ ニ ユ ア ル 化 さ れ て い る こ と	環 境 の バ リ ア ー フ リ ー 化	段 差 解 消 や 車 い す 対 応 の 机 な ど 、 職 場	上 司 や 同 僚 の 理 解 と 協 力 が あ る こ と	働 く こ と こ う え で の 悩 み を 相 談 で き る 場 が あ る	家 族 の 理 解 と 協 力 が あ る こ と	自 分 自 身 に 意 欲 が あ る こ と	そ の 他	無 回 答
障害種別	身体障害	616 100.0%	105 17.0	49 8.0	10 1.6	46 7.5	97 15.7	55 8.9	80 13.0	200 32.5	85 13.8	96 15.6	229 37.2	31 5.0	193 31.3
	知的障害	301 100.0%	27 9.0	13 4.3	12 4.0	36 12.0	62 20.6	51 16.9	9 3.0	123 40.9	69 22.9	54 17.9	86 28.6	23 7.6	72 23.9
	精神障害	385 100.0%	70 18.2	31 8.1	14 3.6	29 7.5	77 20.0	63 16.4	16 4.2	175 45.5	115 29.9	66 17.1	145 37.7	23 6.0	68 17.7
	難病	454 100.0%	57 12.6	30 6.6	7 1.5	88 19.4	42 9.3	22 4.8	35 7.7	194 42.7	81 17.8	144 31.7	198 43.6	30 6.6	82 18.1
	発達障害	92 100.0%	12 13.0	3 3.3	9 9.8	13 14.1	25 27.2	24 26.1	0 0.0	52 56.5	27 29.3	14 15.2	28 30.4	7 7.6	14 15.2
	高次脳機能障害	90 100.0%	12 13.3	2 2.2	1 1.1	9 10.0	14 15.6	15 16.7	9 10.0	20 22.2	6 6.7	21 23.3	24 26.7	10 11.1	30 33.3
年齢別	18～39歳	311 100.0%	57 18.3	23 7.4	21 6.8	42 13.5	68 21.9	65 20.9	16 5.1	173 55.6	91 29.3	64 20.6	123 39.5	15 4.8	36 11.6
	40～64歳	661 100.0%	119 18.0	54 8.2	16 2.4	85 12.9	85 12.9	86 13.0	44 6.7	319 48.3	159 24.1	149 22.5	256 38.7	36 5.4	113 17.1
	65～74歳	301 100.0%	35 11.6	22 7.3	2 0.7	33 11.0	51 16.9	19 6.3	31 10.3	86 28.6	42 14.0	66 21.9	127 42.2	20 6.6	78 25.9
	75歳以上	258 100.0%	27 10.5	8 3.1	1 0.4	10 3.9	37 14.3	12 4.7	29 11.2	45 17.4	22 8.5	43 16.7	77 29.8	12 4.7	125 48.4

3 社会参加やコミュニケーションについて

問. あなた(ご本人)が、社会参加や余暇活動などで外出をするとき、困ることはありますか。
あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

<障害者調査 問15>

社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ることについて、令和4年調査全体では「混雑した電車やバスには、乗りたくない」が32.6%と最も高く、次いで「すぐに疲れてしまう」が31.9%、「特にない」が21.0%となっています。



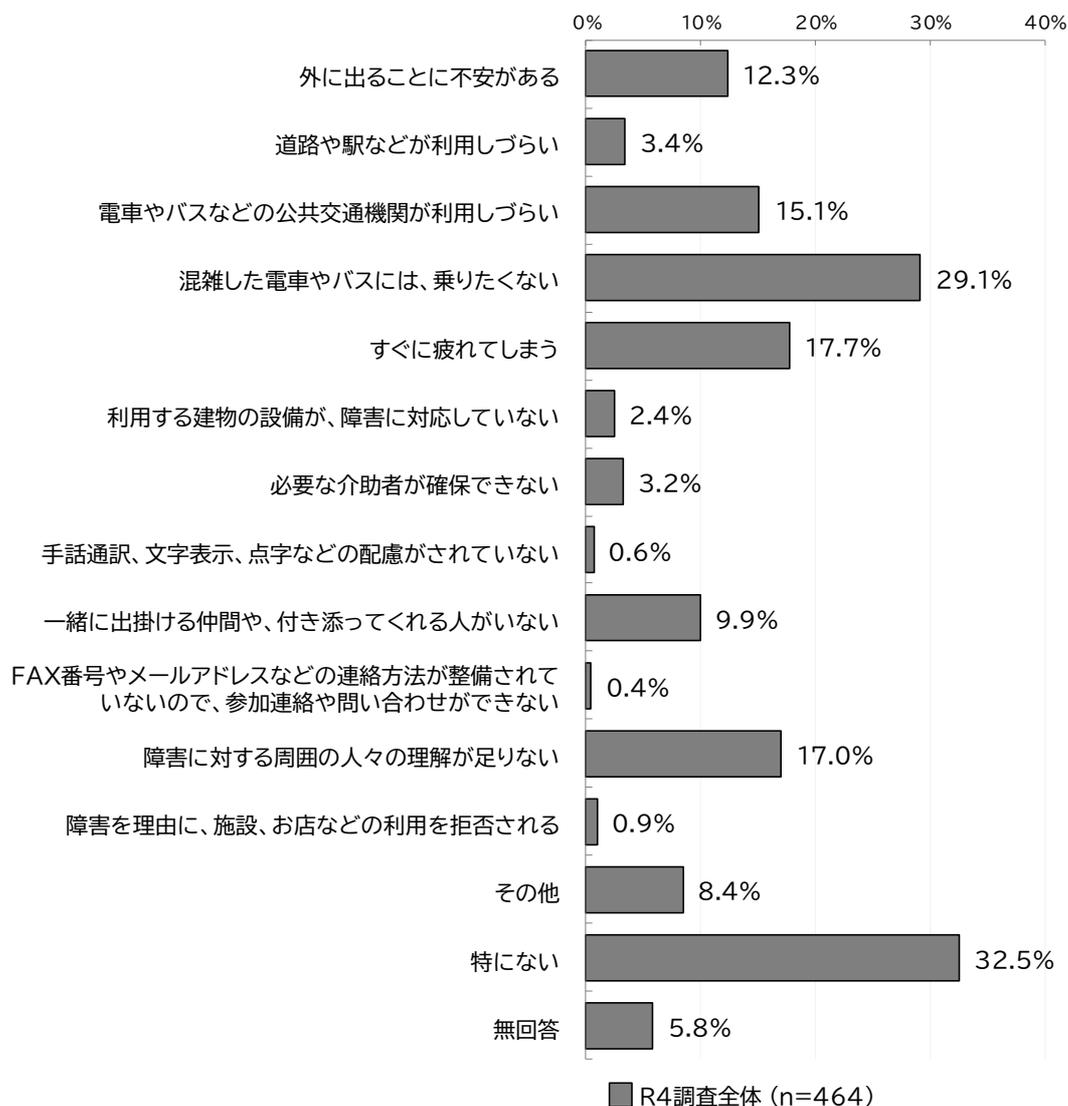
障害種別ごとにみると、精神障害で「すぐに疲れてしまう」が50.4%、「外に出ることに不安がある」が31.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳、40～64歳、65～74歳で「混雑した電車やバスには、乗りたくない」が最も高くなっています。一方、75歳以上では「すぐに疲れてしまう」が最も高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問15.社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ること														
		外に出ることに不安がある	道路や駅などが利用しづらい	電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい	混雑した電車やバスには、乗りたくない	すぐに疲れてしまう	利用する建物の設備が、障害に対応していない	必要な介助者が確保できない	手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない	一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない	障害に対する周囲の人々の理解が足りない	障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される	その他	特になし	無回答
身体障害	616 100.0%	104 16.9	73 11.9	95 15.4	196 31.8	161 26.1	52 8.4	25 4.1	21 3.4	47 7.6	23 3.7	77 12.5	8 1.3	36 5.8	113 18.3	100 16.2
知的障害	301 100.0%	26 8.6	20 6.6	38 12.6	87 28.9	44 14.6	12 4.0	45 15.0	0 0.0	54 17.9	10 3.3	74 24.6	4 1.3	13 4.3	56 18.6	45 15.0
精神障害	385 100.0%	120 31.2	16 4.2	36 9.4	153 39.7	194 50.4	7 1.8	5 1.3	0 0.0	44 11.4	4 1.0	77 20.0	3 0.8	26 6.8	50 13.0	45 11.7
難病	454 100.0%	74 16.3	26 5.7	46 10.1	150 33.0	163 35.9	18 4.0	11 2.4	2 0.4	25 5.5	8 1.8	49 10.8	1 0.2	15 3.3	113 24.9	61 13.4
発達障害	92 100.0%	12 13.0	4 4.3	7 7.6	30 32.6	31 33.7	3 3.3	8 8.7	0 0.0	12 13.0	3 3.3	27 29.3	2 2.2	5 5.4	24 26.1	7 7.6
高次脳機能障害	90 100.0%	16 17.8	6 6.7	11 12.2	24 26.7	22 24.4	4 4.4	6 6.7	1 1.1	13 14.4	2 2.2	12 13.3	1 1.1	7 7.8	16 17.8	15 16.7
18～39歳	311 100.0%	47 15.1	21 6.8	31 10.0	110 35.4	98 31.5	15 4.8	33 10.6	3 1.0	42 13.5	13 4.2	76 24.4	8 2.6	14 4.5	56 18.0	23 7.4
40～64歳	661 100.0%	120 18.2	35 5.3	60 9.1	235 35.6	225 34.0	27 4.1	18 2.7	12 1.8	60 9.1	15 2.3	124 18.8	6 0.9	32 4.8	143 21.6	70 10.6
65～74歳	301 100.0%	53 17.6	25 8.3	41 13.6	91 30.2	83 27.6	15 5.0	10 3.3	3 1.0	20 6.6	9 3.0	26 8.6	2 0.7	15 5.0	78 25.9	46 15.3
75歳以上	258 100.0%	44 17.1	23 8.9	39 15.1	63 24.4	81 31.4	12 4.7	4 1.6	3 1.2	17 6.6	6 2.3	20 7.8	2 0.8	16 6.2	47 18.2	66 25.6

<障害児調査 問11>

社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ることについて、令和4年調査全体では「特にな
い」が32.5%と最も高く、次いで「混雑した電車やバスには、乗りたくない」が29.1%、「すぐに
疲れてしまう」が17.7%、「障害に対する周囲の人々の理解が足りない」が17.0%となっていま
す。



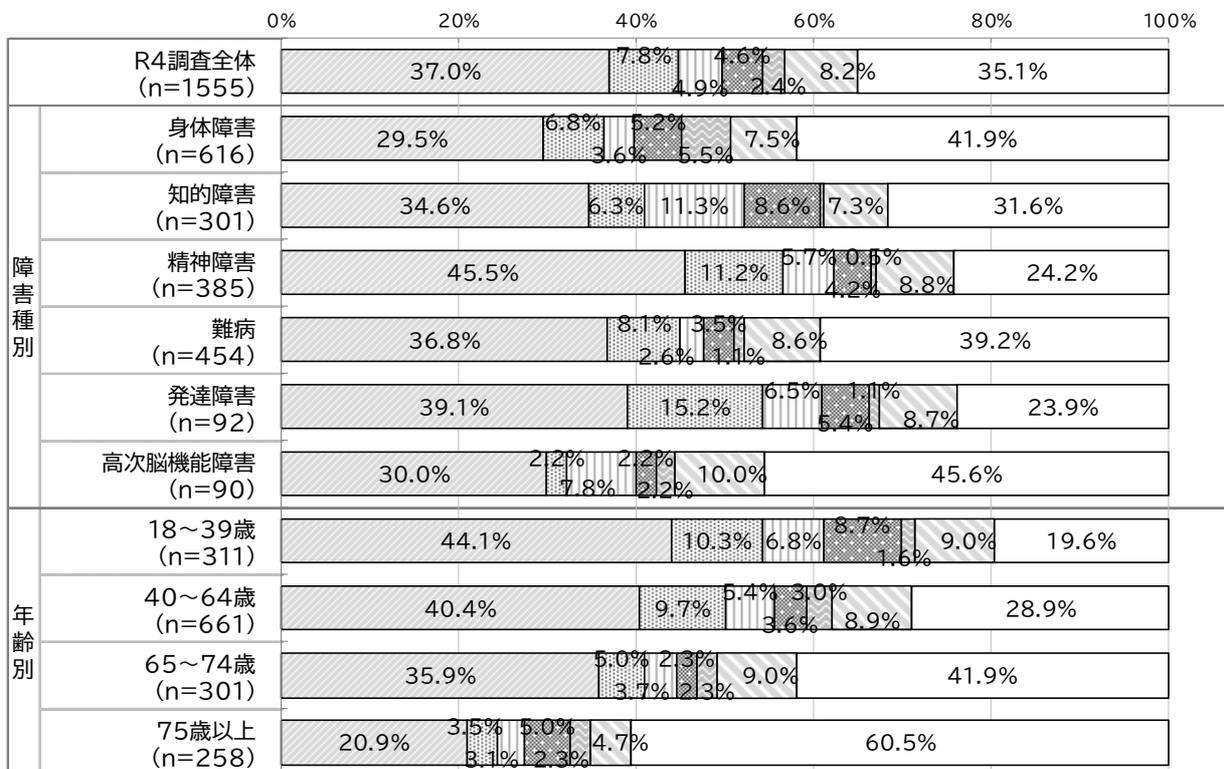
問. 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問16>

社会参加の支援サービスに対する要望について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)」が37.0%と最も高く、次いで「その他」が8.2%、「利用できる時間帯を増やしてほしい」が7.8%となっています。

障害種別ごとにみると、精神障害で「利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)」が45.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

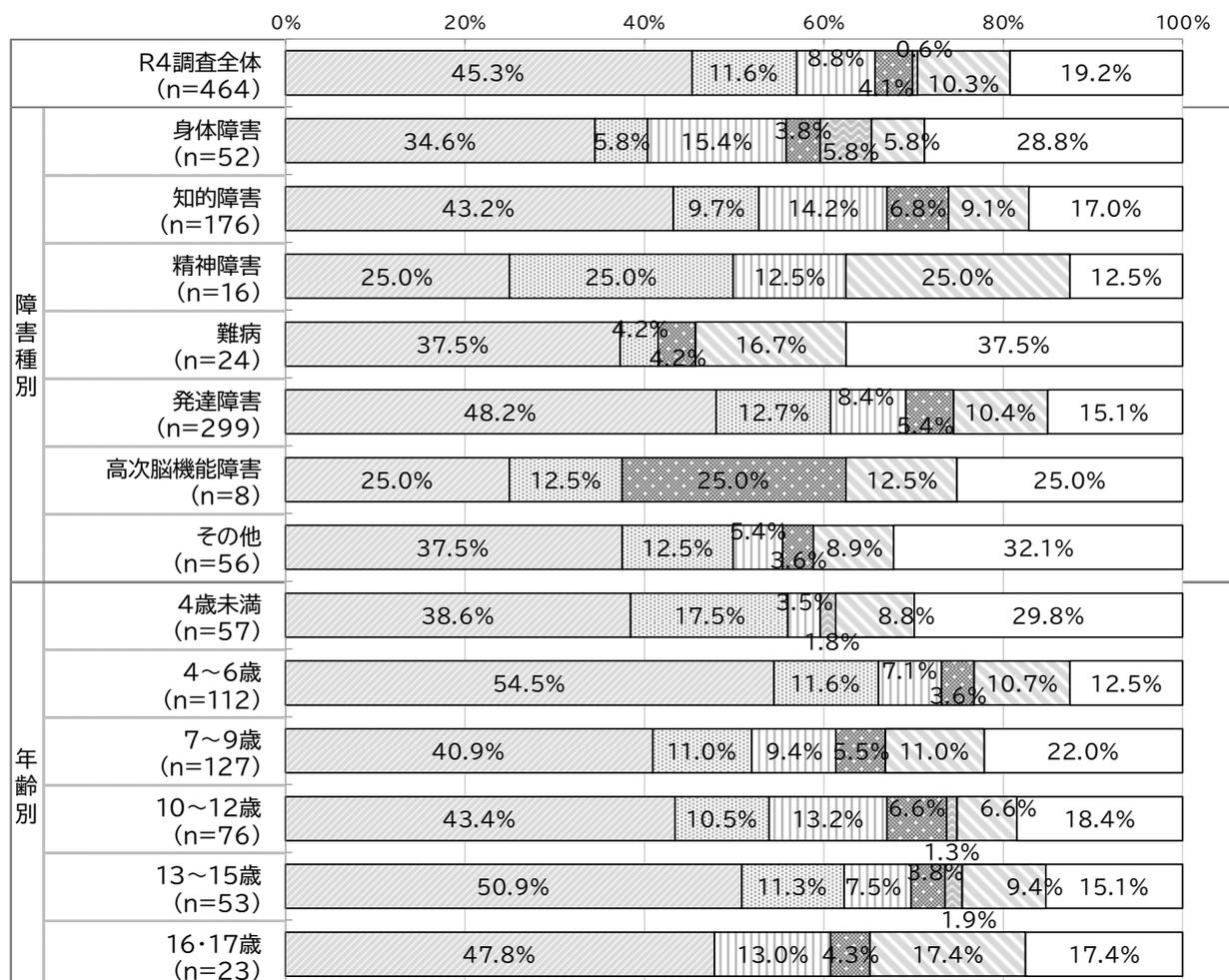
年齢ごとにみると、18～39歳で「利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)」が44.1%と他の年齢と比較して高めとなっています。



- 利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

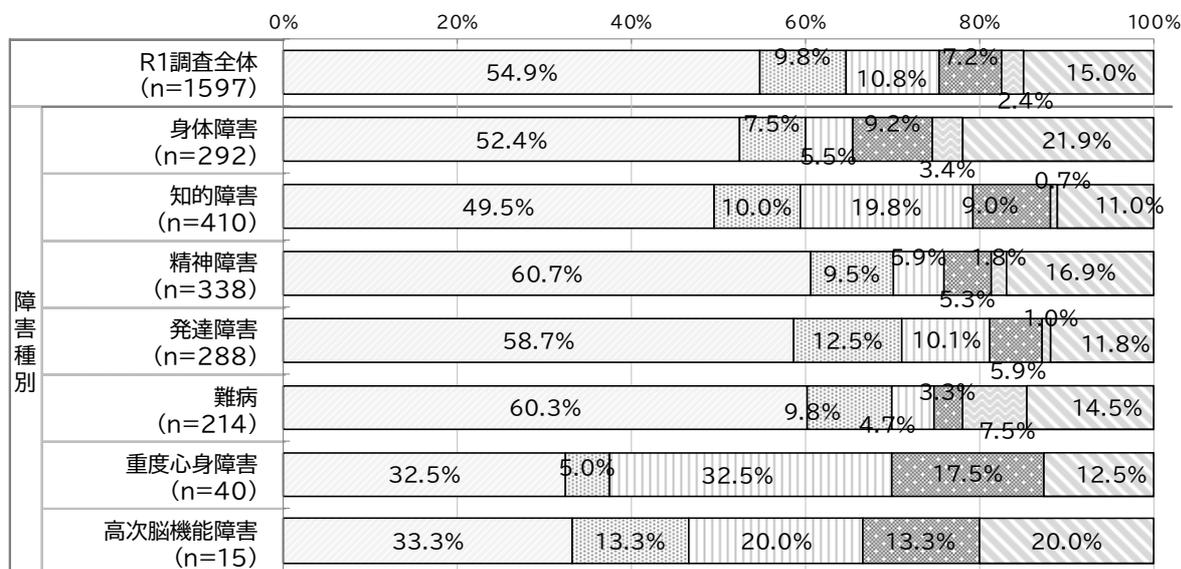
<障害児調査 問12>

社会参加の支援サービスに対する要望について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)」が45.3%と最も高く、次いで「利用できる時間帯を増やしてほしい」が11.6%、「その他」が10.3%となっています。



- 利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>

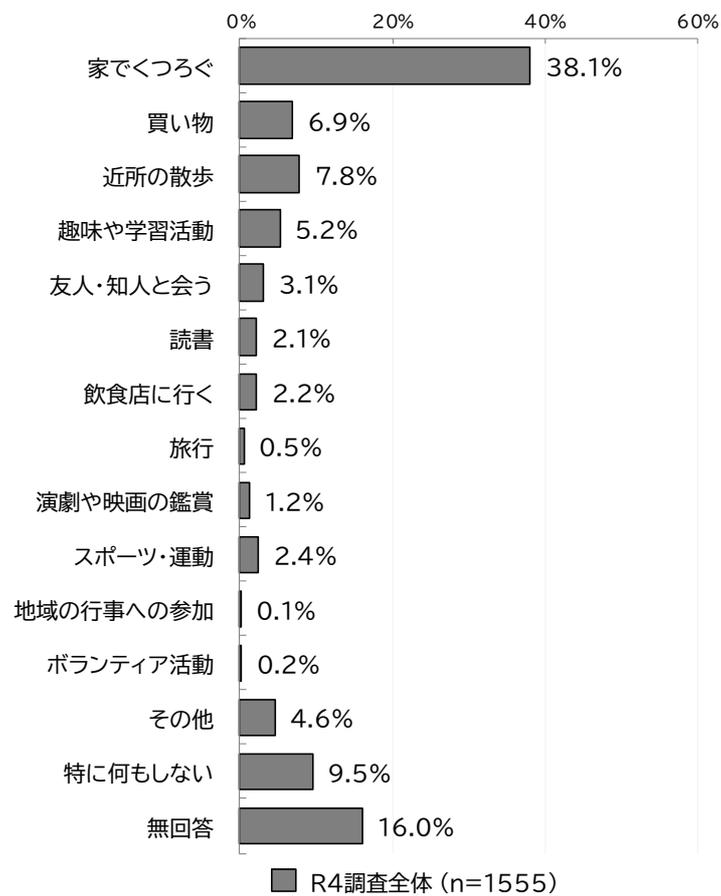


- 利用しやすくしてほしい(利用の条件や手続きなど)
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ホームヘルプの事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他

問. 余暇(主に休日)は、どのように過ごしていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問17>

余暇の過ごし方について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「家でくつろぐ」が38.1%と最も高く、次いで「特に何もしない」が9.5%、「近所の散歩」が7.8%となっています。



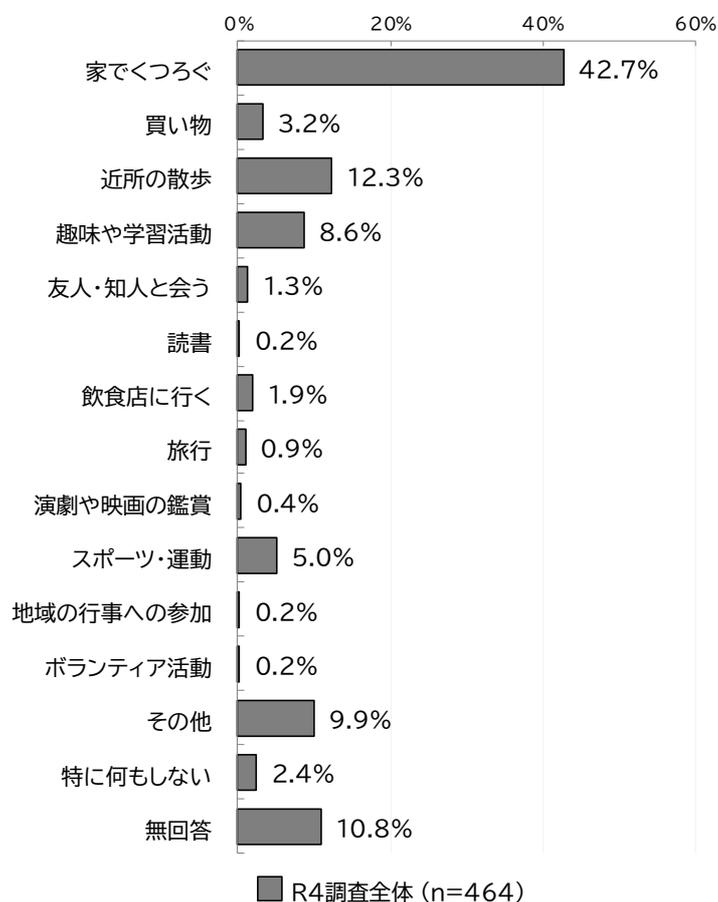
障害種別ごとにみると、発達障害で「趣味や学習活動」が12.0%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、どの年齢も「家でくつろぐ」が最も高くなっていますが、若い年齢ほどその割合が高くなっており、18～39歳で47.6%となっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問17.余暇の過ごし方															
		家でくつろぐ	買い物	近所の散歩	趣味や学習活動	友人・知人と会う	読書	飲食店に行く	旅行	演劇や映画の鑑賞	スポーツ・運動	地域の行事への参加	ボランティア活動	その他	特に何もしない	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	209 33.9	45 7.3	56 9.1	25 4.1	14 2.3	11 1.8	9 1.5	2 0.3	7 1.1	13 2.1	1 0.2	1 0.2	28 4.5	66 10.7	129 20.9
	知的障害	301 100.0%	130 43.2	22 7.3	22 7.3	12 4.0	10 3.3	5 1.7	9 3.0	2 0.7	5 1.7	6 2.0	1 0.3	0 0.0	16 5.3	15 5.0	46 15.3
	精神障害	385 100.0%	156 40.5	23 6.0	22 5.7	21 5.5	9 2.3	11 2.9	7 1.8	1 0.3	2 0.5	10 2.6	0 0.0	1 0.3	18 4.7	53 13.8	51 13.2
	難病	454 100.0%	175 38.5	34 7.5	37 8.1	22 4.8	15 3.3	6 1.3	9 2.0	2 0.4	4 0.9	8 1.8	0 0.0	1 0.2	24 5.3	44 9.7	73 16.1
	発達障害	92 100.0%	33 35.9	5 5.4	5 5.4	11 12.0	4 4.3	0 0.0	3 3.3	1 1.1	3 3.3	4 4.3	0 0.0	0 0.0	5 5.4	7 7.6	11 12.0
	高次脳機能障害	90 100.0%	35 38.9	2 2.2	5 5.6	3 3.3	3 3.3	2 2.2	2 2.2	1 1.1	2 2.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	2 2.2	5 5.6	27 30.0
年齢別	18～39歳	311 100.0%	148 47.6	23 7.4	18 5.8	30 9.6	11 3.5	5 1.6	7 2.3	3 1.0	4 1.3	9 2.9	1 0.3	0 0.0	17 5.5	14 4.5	21 6.8
	40～64歳	661 100.0%	265 40.1	57 8.6	52 7.9	27 4.1	24 3.6	15 2.3	18 2.7	4 0.6	8 1.2	12 1.8	0 0.0	2 0.3	37 5.6	43 6.5	97 14.7
	65～74歳	301 100.0%	111 36.9	14 4.7	21 7.0	17 5.6	5 1.7	6 2.0	6 2.0	1 0.3	6 2.0	8 2.7	0 0.0	1 0.3	6 2.0	49 16.3	50 16.6
	75歳以上	258 100.0%	64 24.8	14 5.4	26 10.1	7 2.7	7 2.7	7 2.7	3 1.2	0 0.0	1 0.4	7 2.7	0 0.0	0 0.0	10 3.9	38 14.7	74 28.7

<障害児調査 問13>

余暇の過ごし方について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「家でくつろぐ」が42.7%と最も高く、次いで「近所の散歩」が12.3%、「その他」が9.9%となっています。

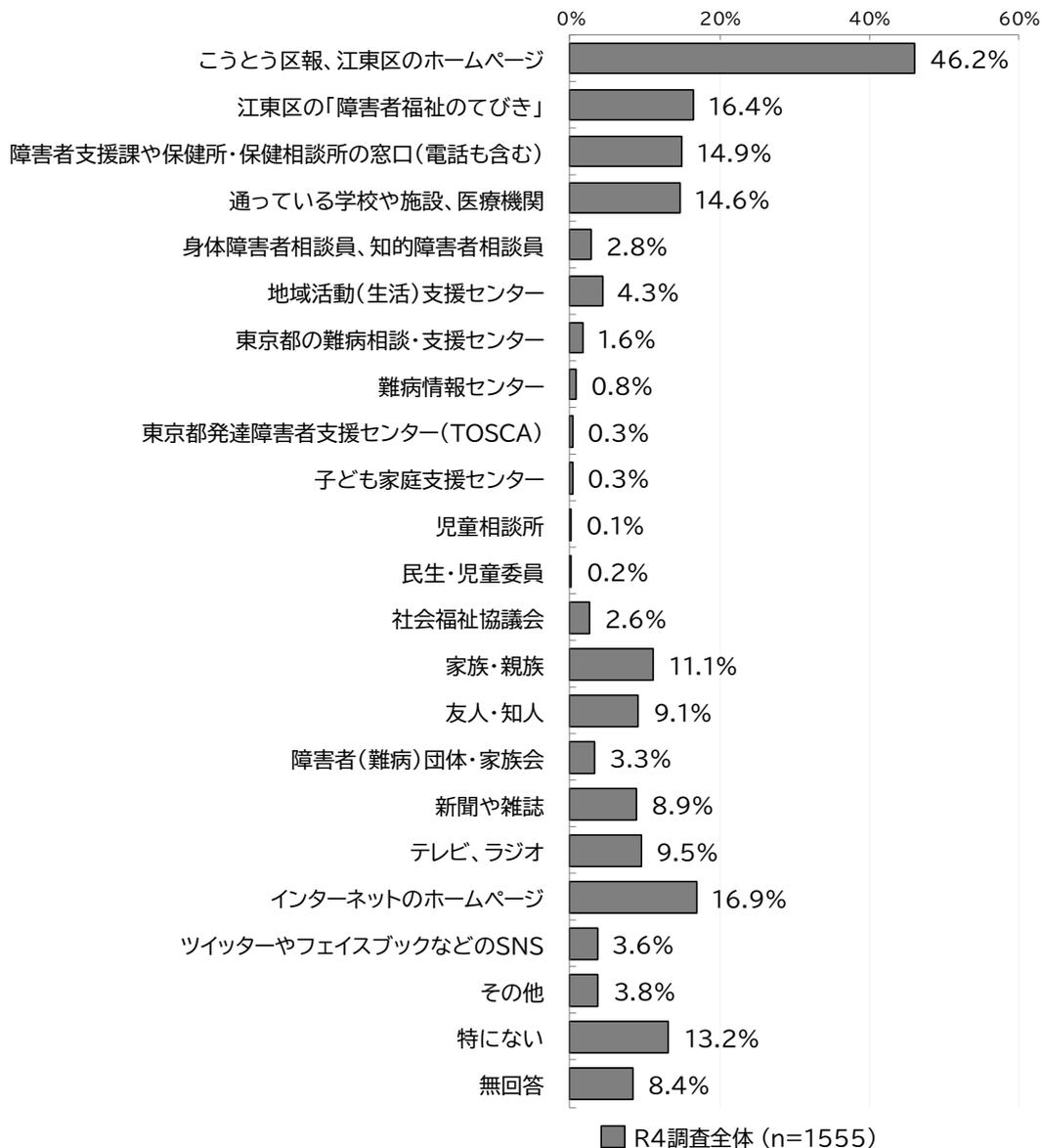


4 情報・相談先について

問. 福祉に関する情報をどこから得ていますか。あてはまるもの3つまでに〇をつけてください。

<障害者調査 問18>

福祉に関する情報の入手経路について、令和4年調査全体では「こうとう区報、江東区のホームページ」が46.2%と最も高く、次いで「インターネットのホームページ」が16.9%、「江東区の「障害者福祉のてびき」」が16.4%となっています。



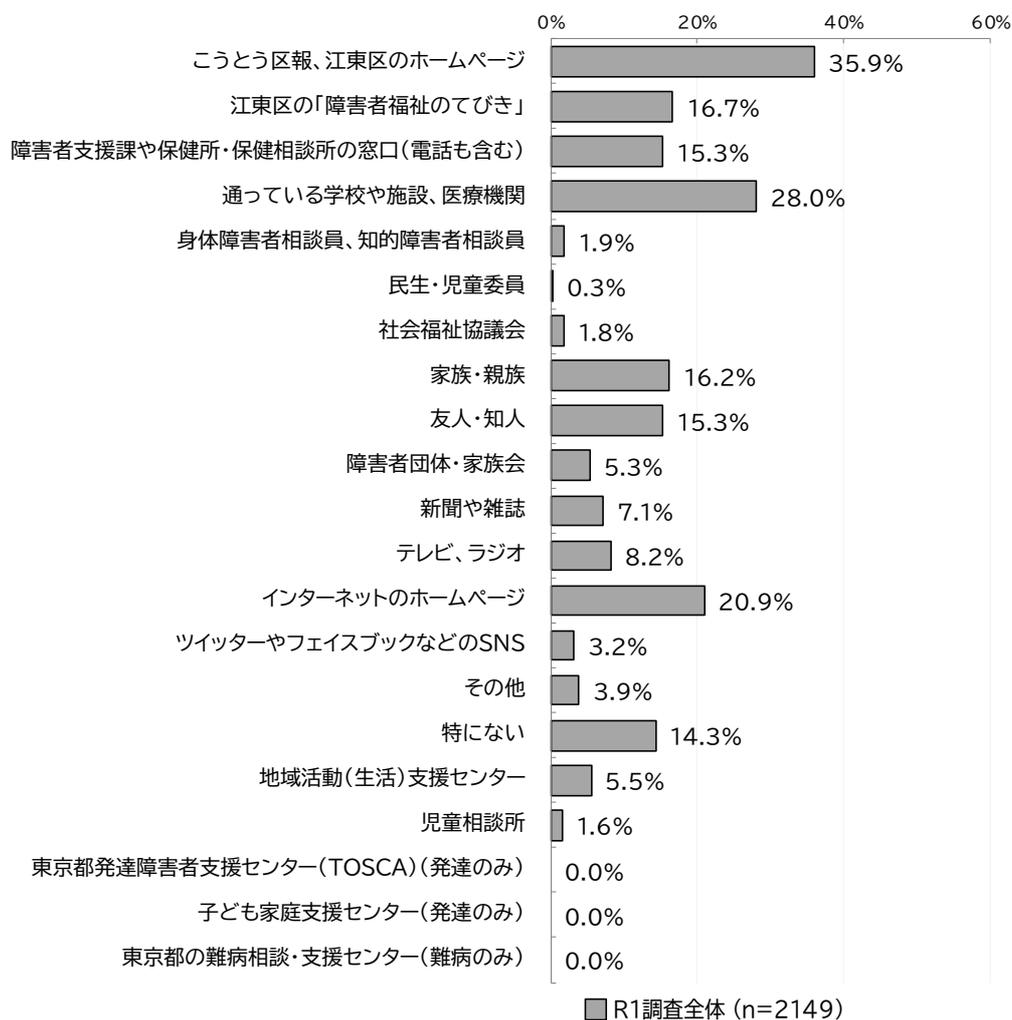
障害種別ごとにとみると、知的障害で「通っている学校や施設、医療機関」が29.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「通っている学校や施設、医療機関」が28.9%、「インターネットのホームページ」が24.8%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問18.福祉に関する情報入手経路															
		このとう 区報、江 東	社 のて びき	江 東 区 の 「 障 害 者 福 」	口 （ 電 話 も 含 む ）	所 ・ 保 健 相 談 所 の 窓 口	障 害 者 支 援 課 や 保 健	設 、 通 つ て い る 学 校 や 施 	知 的 障 害 者 相 談 員 、	身 体 障 害 者 相 談 員 、	援 地 域 活 動 （ 生 活 ） 支 	支 援 セ ン タ ー （ 生 活 ） 支 	東 京 都 の 難 病 相 談 ・	難 病 情 報 セ ン タ ー	C A （ ）	東 京 都 発 達 障 害 者 支 	タ ー 子 も 家 庭 支 援 セ ン
身体障害	616 100.0%	304 49.4	152 24.7	62 10.1	58 9.4	12 1.9	30 4.9	4 0.6	3 0.5	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0
知的障害	301 100.0%	117 38.9	75 24.9	33 11.0	88 29.2	26 8.6	15 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3
精神障害	385 100.0%	156 40.5	35 9.1	97 25.2	73 19.0	6 1.6	23 6.0	2 0.5	1 0.3	2 0.5	1 0.5	2 0.5	1 0.3	0 0.0	2 0.5	2 0.5	1 0.3
難病	454 100.0%	228 50.2	54 11.9	84 18.5	42 9.3	5 1.1	14 3.1	20 4.4	13 2.9	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0
発達障害	92 100.0%	28 30.4	21 22.8	19 20.7	21 22.8	2 2.2	3 3.3	3 3.3	0 0.0	2 2.2	0 0.0	0 0.0	2 2.2	2 2.2	0 0.0	1 1.1	1 1.1
高次脳機能障害	90 100.0%	38 42.2	11 12.2	12 13.3	19 21.1	3 3.3	2 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1
18～39歳	311 100.0%	125 40.2	57 18.3	66 21.2	90 28.9	6 1.9	5 1.6	4 1.3	3 1.0	2 0.6	2 0.6	2 0.6	2 0.6	0 0.0	2 0.6	2 0.6	1 0.3
40～64歳	661 100.0%	303 45.8	103 15.6	100 15.1	101 15.3	24 3.6	24 3.6	13 2.0	7 1.1	2 0.3	2 0.3	2 0.3	0 0.0	0 0.0	2 0.3	0 0.0	0 0.0
65～74歳	301 100.0%	154 51.2	48 15.9	43 14.3	28 9.3	5 1.7	17 5.6	3 1.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
75歳以上	258 100.0%	131 50.8	45 17.4	18 7.0	7 2.7	8 3.1	18 7.0	4 1.6	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

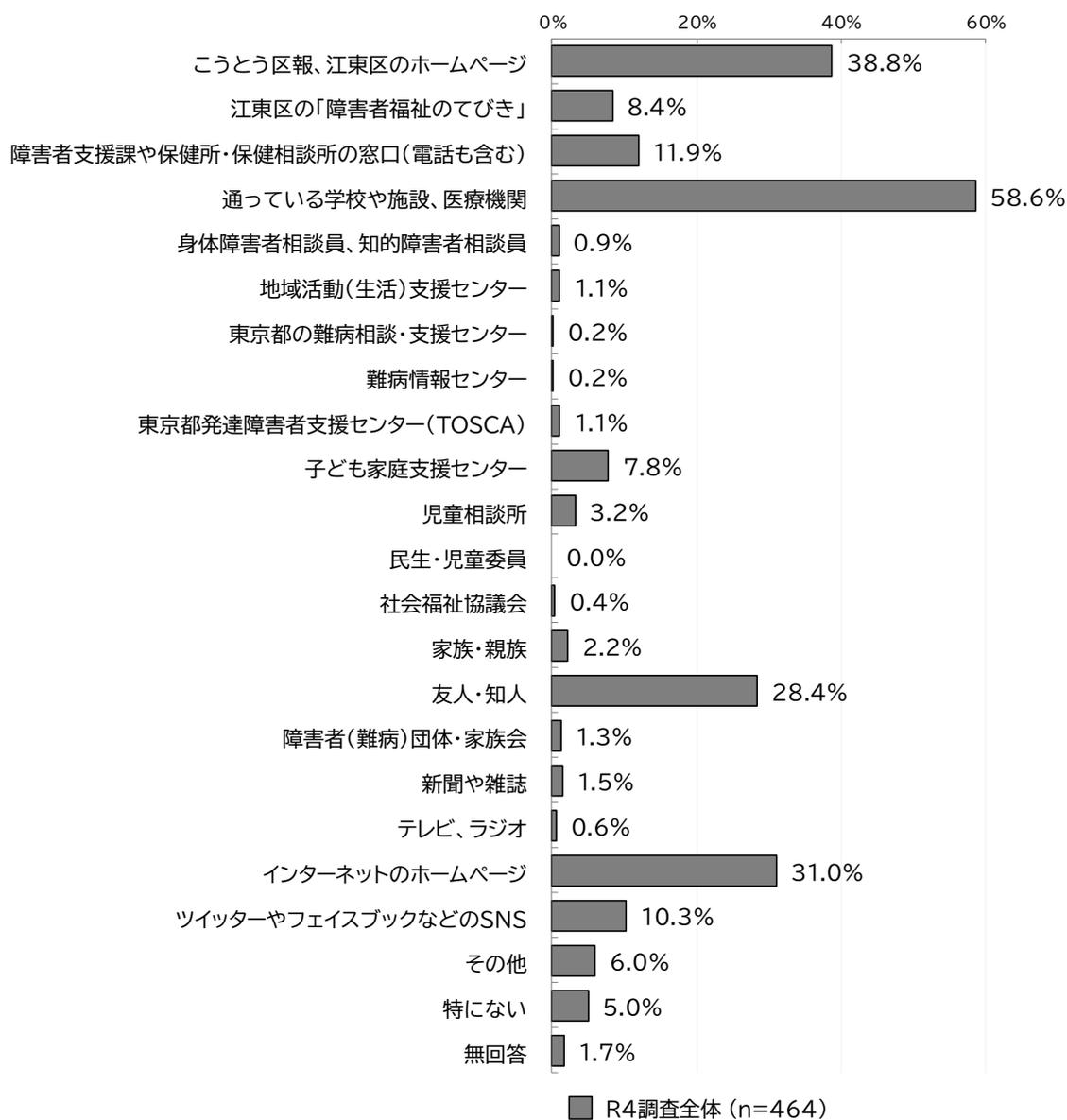
1段目 人 2段目 %	問18.福祉に関する情報入手経路											
	民 生 ・ 児 童 委 員	社 会 福 祉 協 議 会	家 族 ・ 親 族	友 人 ・ 知 人	団 体 ・ 家 族 会 （ 難 病 ）	新 聞 や 雑 誌	テ レ ビ 、 ラ ジ オ	の イ ン タ ー ネ ッ ト	な ど の イ ン タ ー ネ ッ ト	フ イ ッ ク ス タ ー ブ ッ ク	そ の 他	特 に な い
身体障害	2 0.3	21 3.4	61 9.9	66 10.7	19 3.1	74 12.0	69 11.2	103 16.7	19 3.1	21 3.4	66 10.7	63 10.2
知的障害	0 0.0	18 6.0	51 16.9	43 14.3	27 9.0	14 4.7	15 5.0	21 7.0	2 0.7	13 4.3	35 11.6	17 5.6
精神障害	0 0.0	10 2.6	47 12.2	19 4.9	12 3.1	22 5.7	42 10.9	77 20.0	22 5.7	26 6.8	55 14.3	23 6.0
難病	1 0.2	6 1.3	37 8.1	37 8.1	8 1.8	36 7.9	29 6.4	101 22.2	17 3.7	10 2.2	68 15.0	36 7.9
発達障害	0 0.0	0 0.0	20 21.7	8 8.7	5 5.4	2 2.2	3 3.3	20 21.7	9 9.8	7 7.6	12 13.0	7 7.6
高次脳機能障害	0 0.0	4 4.4	14 15.6	4 4.4	4 4.4	7 7.8	7 7.8	7 7.8	1 1.1	5 5.6	11 12.2	11 12.2
18～39歳	0 0.0	4 1.3	52 16.7	41 13.2	14 4.5	10 3.2	13 4.2	77 24.8	22 7.1	13 4.2	38 12.2	10 3.2
40～64歳	0 0.0	15 2.3	57 8.6	50 7.6	25 3.8	45 6.8	67 10.1	136 20.6	31 4.7	26 3.9	101 15.3	40 6.1
65～74歳	2 0.7	11 3.7	26 8.6	28 9.3	6 2.0	37 12.3	26 8.6	38 12.6	2 0.7	14 4.7	33 11.0	33 11.0
75歳以上	1 0.4	10 3.9	38 14.7	21 8.1	6 2.3	46 17.8	39 15.1	8 3.1	0 0.0	5 1.9	30 11.6	42 16.3

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



<障害児調査 問14>

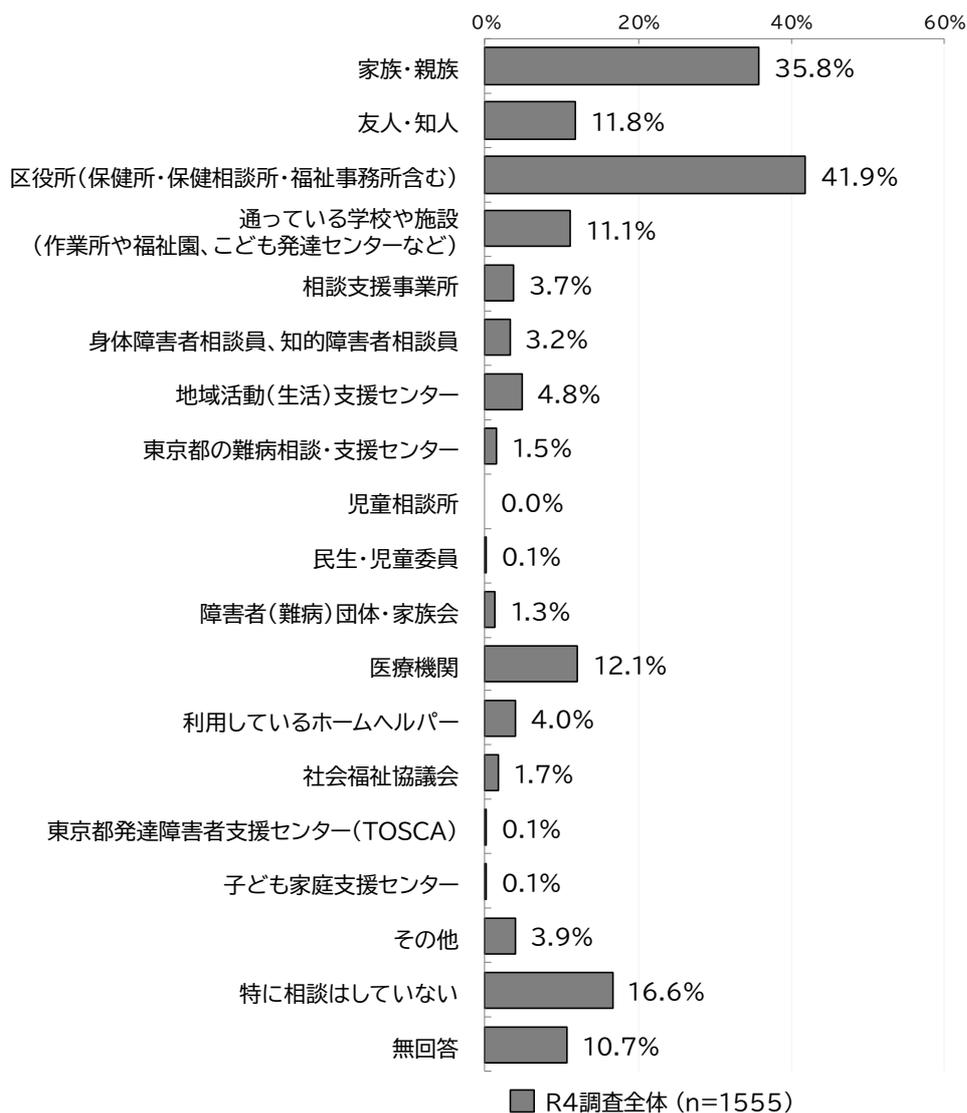
福祉に関する情報の入手経路について、令和4年調査全体では「通っている学校や施設、医療機関」が58.6%と最も高く、次いで「こうとう区報、江東区のホームページ」が38.8%、「インターネットのホームページ」が31.0%、「友人・知人」が28.4%となっています。



問. 福祉サービスの利用で困ったとき、誰(どこ)に相談しますか。あてはまるもの3つまでに
○をつけてください。

<障害者調査 問19>

福祉サービスの利用で困ったときの相談先について、令和4年調査全体では「区役所(保健所・保健相談所・福祉事務所含む)」が41.9%と最も高く、次いで「家族・親族」が35.8%、「特に相談はしていない」が16.6%となっています。



障害種別ごとにとみると、知的障害で「通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)」が39.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

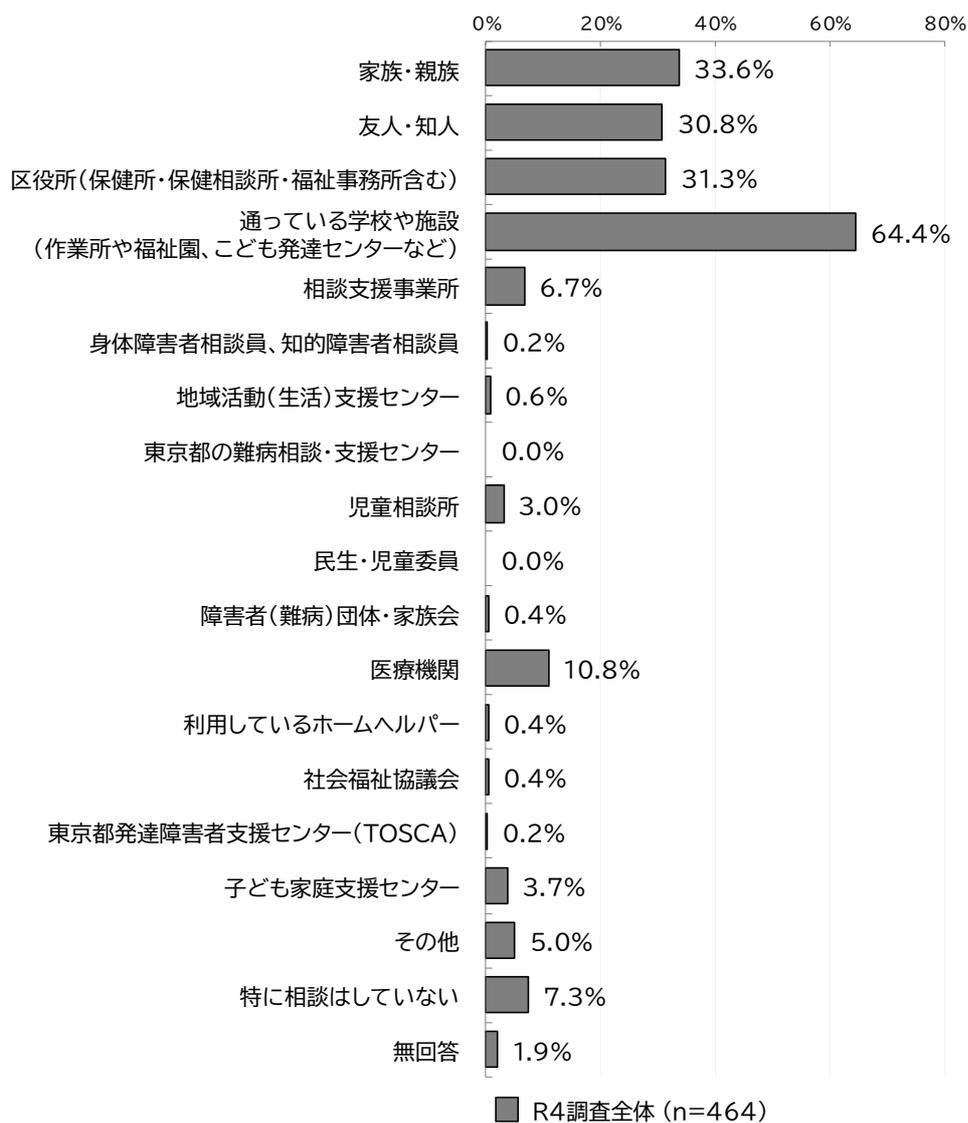
年齢ごとにとみると、18～39歳で「家族・親族」が46.6%、「通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)」が22.8%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問19.福祉サービスの利用で困ったときの相談先									
		家族・親族	友人・知人	区役所・保健所・保健相談所・福祉事務所(含む)	も(作業所や福祉園、こども発達センターなど)	通っている学校や施設	相談支援事業所	障害者相談員、知的	身体障害者相談員、知的	地域活動(生活)支援センター	東京都の難病相談・支援センター
障害種別	身体障害	616 100.0%	207 33.6	84 13.6	256 41.6	45 7.3	18 2.9	20 3.2	37 6.0	7 1.1	0 0.0
	知的障害	301 100.0%	121 40.2	40 13.3	123 40.9	119 39.5	23 7.6	27 9.0	14 4.7	0 0.0	0 0.0
	精神障害	385 100.0%	137 35.6	33 8.6	168 43.6	33 8.6	18 4.7	9 2.3	24 6.2	2 0.5	0 0.0
	難病	454 100.0%	158 34.8	46 10.1	215 47.4	20 4.4	12 2.6	9 2.0	15 3.3	21 4.6	0 0.0
	発達障害	92 100.0%	37 40.2	10 10.9	42 45.7	20 21.7	6 6.5	4 4.3	5 5.4	1 1.1	0 0.0
	高次脳機能障害	90 100.0%	41 45.6	20 22.2	31 34.4	17 18.9	3 3.3	1 1.1	3 3.3	0 0.0	0 0.0
年齢別	18～39歳	311 100.0%	145 46.6	36 11.6	136 43.7	71 22.8	18 5.8	6 1.9	7 2.3	3 1.0	0 0.0
	40～64歳	661 100.0%	219 33.1	83 12.6	306 46.3	80 12.1	25 3.8	27 4.1	24 3.6	13 2.0	0 0.0
	65～74歳	301 100.0%	95 31.6	33 11.0	115 38.2	17 5.6	5 1.7	6 2.0	19 6.3	1 0.3	0 0.0
	75歳以上	258 100.0%	92 35.7	29 11.2	84 32.6	4 1.6	9 3.5	11 4.3	23 8.9	7 2.7	0 0.0

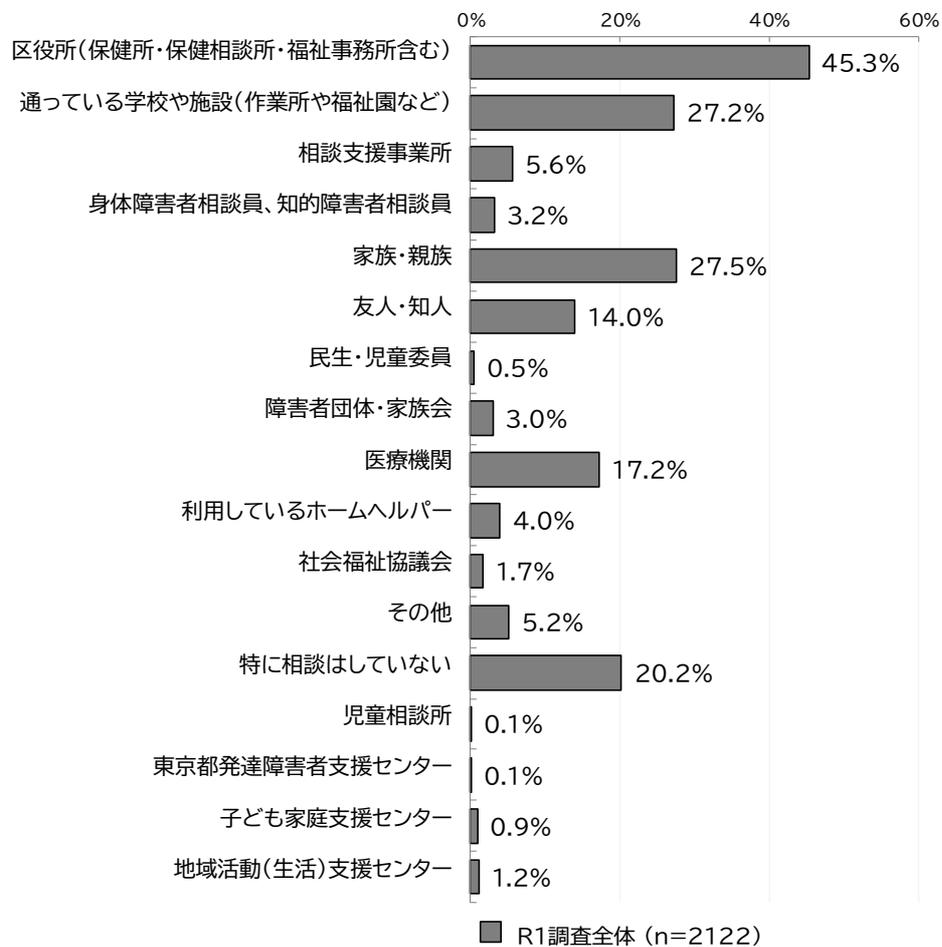
1段目 人 2段目 %	問19.福祉サービスの利用で困ったときの相談先										
	民生・児童委員	障害者(難病)家族会	医療機関	利用しているヘルパー	社会福祉協議会	(TOSCA)支援センター	東京都発達障害者支援センター	子ども家庭支援センター	その他	いない	特に相談はして
障害種別	身体障害	2 0.3	7 1.1	52 8.4	37 6.0	10 1.6	0 0.0	1 0.2	30 4.9	102 16.6	78 12.7
	知的障害	0 0.0	8 2.7	15 5.0	12 4.0	9 3.0	0 0.0	1 0.3	9 3.0	25 8.3	17 5.6
	精神障害	1 0.3	3 0.8	74 19.2	19 4.9	6 1.6	2 0.5	0 0.0	25 6.5	56 14.5	35 9.1
	難病	2 0.4	6 1.3	64 14.1	12 2.6	4 0.9	0 0.0	0 0.0	10 2.2	89 19.6	48 10.6
	発達障害	0 0.0	1 1.1	17 18.5	0 0.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	3 3.3	11 12.0	5 5.4
	高次脳機能障害	1 1.1	1 1.1	15 16.7	6 6.7	1 1.1	0 0.0	0 0.0	4 4.4	8 8.9	15 16.7
年齢別	18～39歳	0 0.0	6 1.9	50 16.1	9 2.9	1 0.3	2 0.6	0 0.0	6 1.9	43 13.8	15 4.8
	40～64歳	0 0.0	7 1.1	76 11.5	20 3.0	14 2.1	0 0.0	0 0.0	24 3.6	117 17.7	57 8.6
	65～74歳	1 0.3	4 1.3	37 12.3	13 4.3	6 2.0	0 0.0	0 0.0	18 6.0	61 20.3	44 14.6
	75歳以上	1 0.4	3 1.2	23 8.9	19 7.4	5 1.9	0 0.0	1 0.4	13 5.0	35 13.6	44 17.1

<障害児調査 問15>

福祉サービスの利用で困ったときの相談先について、令和4年調査全体では「通っている学校や施設(作業所や福祉園、こども発達センターなど)」が64.4%と最も高く、次いで「家族・親族」が33.6%、「区役所(保健所・保健相談所・福祉事務所含む)」が31.3%、「友人・知人」が30.8%となっています。



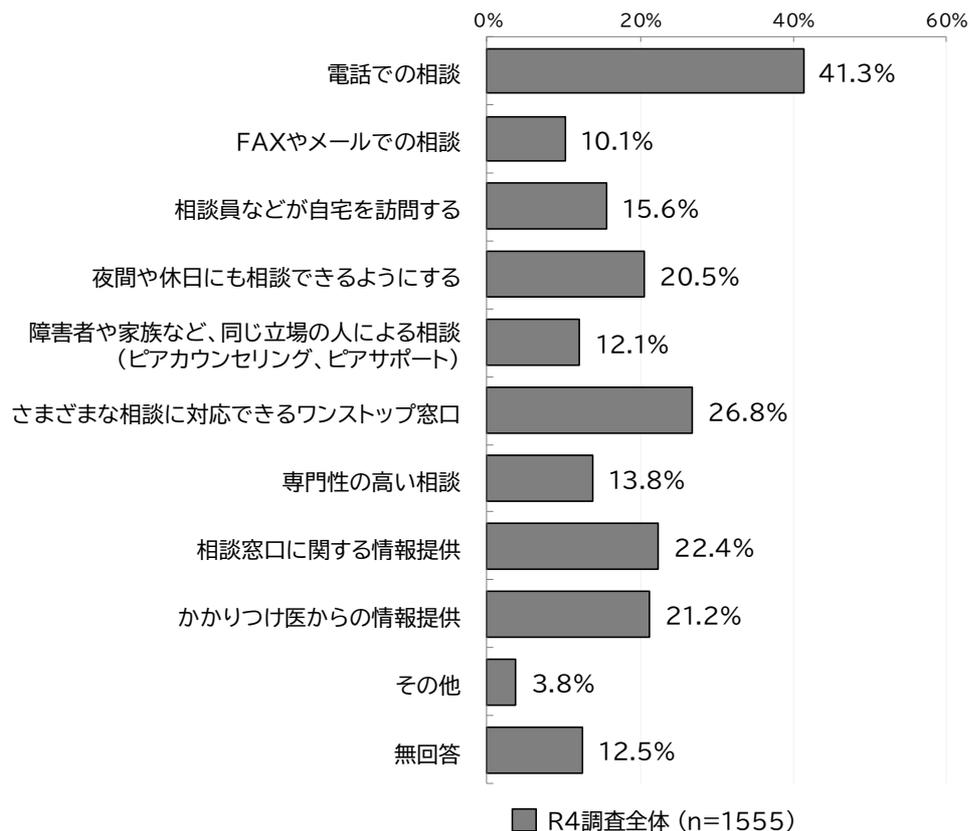
<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



問. 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

<障害者調査 問20>

福祉サービスの利用において区役所などへ相談しやすくするために必要なことについて、令和4年調査全体では「電話での相談」が41.3%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が26.8%、「相談窓口に関する情報提供」が22.4%となっています。



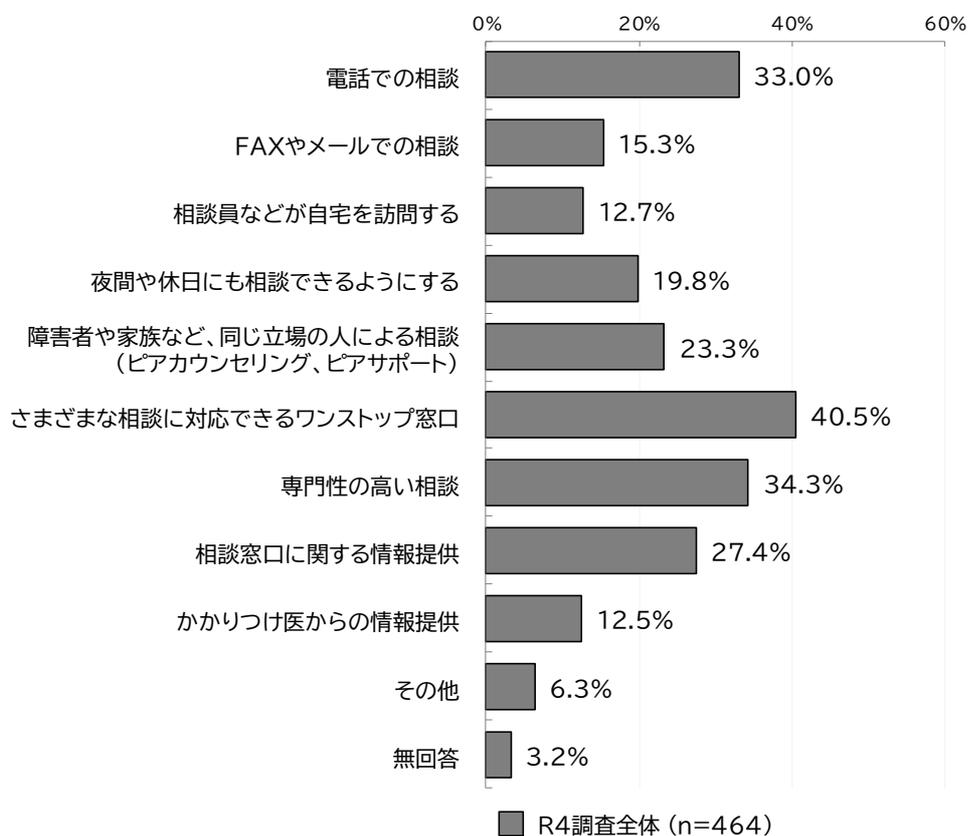
障害種別ごとにとみると、発達障害で「FAXやメールでの相談」が20.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「障害者や家族など、同じ立場の人による相談(ピアカウンセリング、ピアサポート)」が20.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「専門性の高い相談」が21.9%と他の年齢と比較して高くなっています。また、75歳以上で「かかりつけ医からの情報提供」が27.9%と他の年齢と比較して高くなっています。

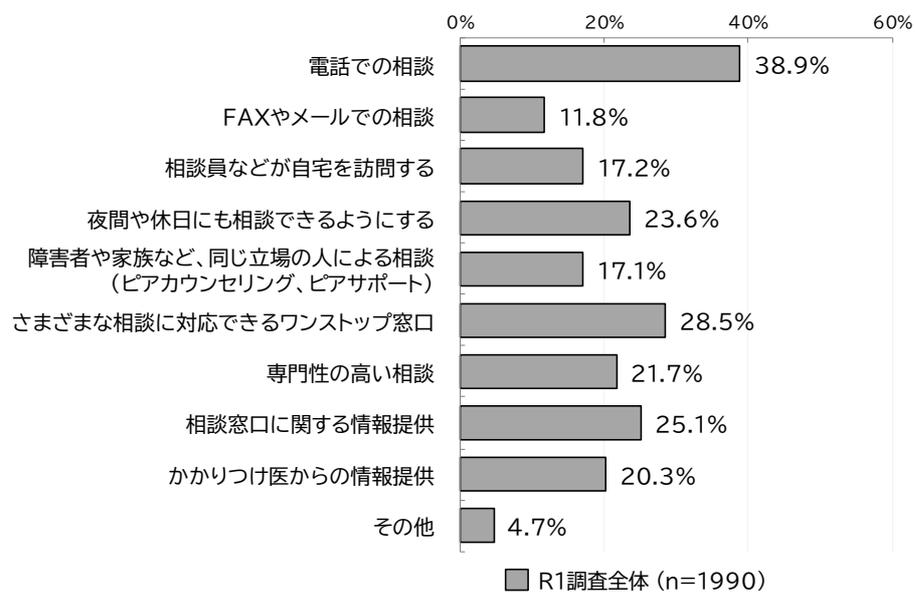
1段目 人 2段目 %		合計	問20.福祉サービスの利用について区役所などへ 相談しやすくするのに必要なこと										
			電話での相談	FAXやメールでの相談	相談員などが自宅を訪問する	夜間や休日にも相談できるような	人による相談(ピアサポート)	障害者や家族など、同じ立場の	さまざまな相談に対応できるワ	専門性の高い相談	相談窓口に関する情報提供	かかりつけ医からの情報提供	その他
障害種別	身体障害	616 100.0%	264 42.9	70 11.4	107 17.4	102 16.6	65 10.6	163 26.5	78 12.7	145 23.5	111 18.0	26 4.2	87 14.1
	知的障害	301 100.0%	110 36.5	22 7.3	59 19.6	47 15.6	62 20.6	96 31.9	46 15.3	73 24.3	29 9.6	12 4.0	42 14.0
	精神障害	385 100.0%	172 44.7	30 7.8	58 15.1	102 26.5	51 13.2	96 24.9	54 14.0	71 18.4	114 29.6	19 4.9	40 10.4
	難病	454 100.0%	193 42.5	35 7.7	54 11.9	92 20.3	42 9.3	118 26.0	73 16.1	106 23.3	118 26.0	12 2.6	54 11.9
	発達障害	92 100.0%	33 35.9	19 20.7	11 12.0	28 30.4	12 13.0	25 27.2	18 19.6	21 22.8	17 18.5	5 5.4	9 9.8
	高次脳機能障害	90 100.0%	32 35.6	6 6.7	13 14.4	16 17.8	12 13.3	23 25.6	12 13.3	17 18.9	20 22.2	4 4.4	18 20.0
年齢別	18～39歳	311 100.0%	112 36.0	41 13.2	31 10.0	81 26.0	55 17.7	94 30.2	68 21.9	75 24.1	57 18.3	19 6.1	19 6.1
	40～64歳	661 100.0%	259 39.2	82 12.4	96 14.5	157 23.8	91 13.8	178 26.9	100 15.1	142 21.5	141 21.3	29 4.4	67 10.1
	65～74歳	301 100.0%	142 47.2	23 7.6	52 17.3	39 13.0	25 8.3	90 29.9	29 9.6	79 26.2	56 18.6	6 2.0	46 15.3
	75歳以上	258 100.0%	118 45.7	11 4.3	60 23.3	39 15.1	16 6.2	53 20.5	16 6.2	51 19.8	72 27.9	4 1.6	53 20.5

<障害児調査 問16>

福祉サービスの利用で区役所などへ相談しやすくするために必要なことについて、令和4年調査全体では「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が40.5%と最も高く、次いで「専門性の高い相談」が34.3%、「電話での相談」が33.0%となっています。



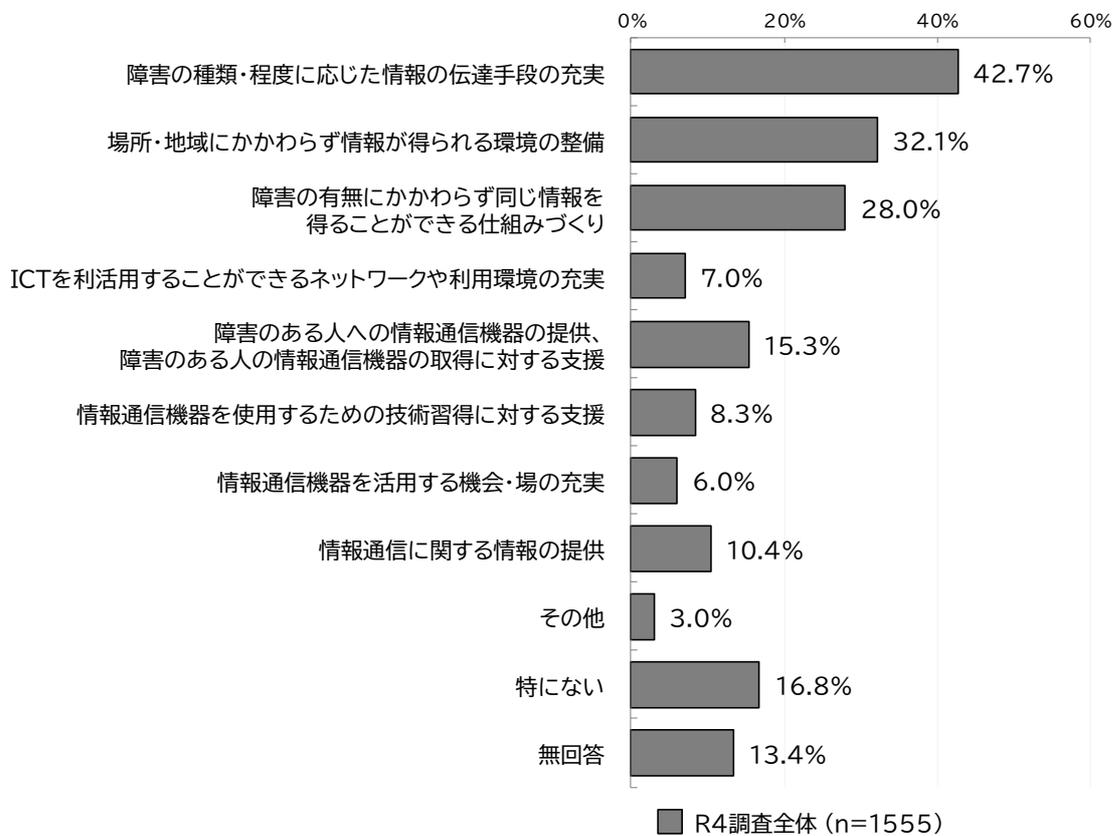
<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



問. 国では、今年5月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。江東区においてもこの法律を踏まえ、障害のある人の情報の十分な取得や利用、スムーズな意思疎通を推進するための施策の充実を検討しています。
あなた(ご本人)は、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が特に必要であるとお考えですか。あてはまるもの**3つまでに○**をつけてください。

<障害者調査 問21>

情報の取得利用や意思疎通における必要な施策について、令和4年調査全体では「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」が42.7%と最も高く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」が32.1%、「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」が28.0%となっています。



障害種別ごとにみると、発達障害で「情報通信機器を使用するための技術習得に対する支援」が15.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「ICTを利活用することができるネットワークや利用環境の充実」は若い年齢ほど高く、18～39歳で10.6%、75歳以上では1.9%となっています。

		合計	問21.情報の取得利用や意思疎通における必要な施策										
			実障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実	整備所・地域にかかわらず情報が得られる環境の充	で障害の仕組みづくり	やICTを利活用することができ	障害のある人への情報通信機器の提供、障害の	る情報通信機器を使用するための技術習得に対す	情報通信機器を活用する機会・場の充実	情報通信に関する情報の提供	その他	特にな	無回答
1段目 人	2段目 %												
障害種別	身体障害	616 100.0%	259 42.0	199 32.3	183 29.7	43 7.0	110 17.9	58 9.4	33 5.4	62 10.1	22 3.6	95 15.4	83 13.5
	知的障害	301 100.0%	142 47.2	94 31.2	69 22.9	10 3.3	39 13.0	20 6.6	15 5.0	22 7.3	12 4.0	53 17.6	43 14.3
	精神障害	385 100.0%	176 45.7	125 32.5	114 29.6	33 8.6	68 17.7	30 7.8	27 7.0	41 10.6	10 2.6	66 17.1	51 13.2
	難病	454 100.0%	180 39.6	149 32.8	112 24.7	36 7.9	64 14.1	38 8.4	31 6.8	60 13.2	15 3.3	69 15.2	57 12.6
	発達障害	92 100.0%	40 43.5	24 26.1	29 31.5	9 9.8	18 19.6	14 15.2	7 7.6	12 13.0	3 3.3	15 16.3	9 9.8
	高次脳機能障害	90 100.0%	29 32.2	23 25.6	16 17.8	6 6.7	14 15.6	6 6.7	3 3.3	4 4.4	2 2.2	16 17.8	25 27.8
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	153 49.2	118 37.9	100 32.2	33 10.6	50 16.1	27 8.7	20 6.4	27 8.7	10 3.2	44 14.1
40～64歳		661 100.0%	283 42.8	209 31.6	177 26.8	59 8.9	115 17.4	55 8.3	47 7.1	79 12.0	22 3.3	117 17.7	71 10.7
65～74歳		301 100.0%	113 37.5	90 29.9	80 26.6	12 4.0	45 15.0	25 8.3	13 4.3	27 9.0	7 2.3	61 20.3	51 16.9
75歳以上		258 100.0%	108 41.9	77 29.8	73 28.3	5 1.9	28 10.9	20 7.8	12 4.7	26 10.1	8 3.1	37 14.3	55 21.3

<障害児調査 問17>

情報の取得利用や意思疎通における必要な施策について、令和4年調査全体では「障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実」が55.2%と最も高く、次いで「場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備」が42.9%、「障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり」が28.9%となっています。

